

XVL Converter Plug-in x64 インストール方法・変換設定ダイアログ設定方法 (Ver. 20.2 以降対応版)

ラティス・テクノロジー株式会社
カスタマーサポートGr.

2022/09/14

はじめに

1. 本資料は、XCP のインストール、変換設定ダイアログを紹介した資料です
2. 本資料では、XVL Converter Plug-in x64 を、以降 XCP と呼びます
3. 変換設定には、「XVL Exporter タブ」と「[CAD名] (組込型) Importer タブ」があります
4. 「XVL Exporter タブ」は、各CAD共通です

XCP

制限・既知の問題・注意事項

- XVL Converter Plug-in x64
 - セマンティック PMI 変換（グラフィカル変換）
 - 対応していません
 - 形状セット変換（CATIA V5）
 - 対応していません
※形状セット変換は、XVL Converter Advanced（Migration Edition 含む）が対応しています
 - 複数バージョンインストール
 - 複数バージョンをインストールして使用することは、動作保証していません

- XVL Converter Plug-in x64
 - 形状
 - 外挿面の変換が正しく行われない場合があります（改修予定：V21.*）
 - その他
 - [「3D図面ユーザー手引き」](#)参照（[カスタマーポータルサイト](#)にログインが必要です。）

- XVL Converter Plug-in x64
 - インストーラの変更
 - V20.2 から、日本語版、英語版のインストーラが別々のインストーラに変更になります
 - パフォーマンスについて（メモリ使用量、変換時間）
 - CAD ファイルを XVL ファイルに変換するプロセスの変更により、安定した XCP 変換を行うことができるようになりました
 - 変換プロセス変更に伴い、変換時のメモリ使用量・変換時間は、約 5% ~ 15% 程度で増加します
 - Ver. 20.2 は、ライセンスファイルのバージョンが Ver. 20 で動作します
 - ライセンスファイルのバージョンが、Ver. 19 以前の場合、ライセンスエラーとなります
 - 通常は上位 1 バージョンが動作しますが、Ver. 20.* に限り、Ver. 19 のライセンスでは動作しません
 - 本動作は、Ver. 20.2 のみの動作になります
 - 次バージョン移行は従来通り、上位 1 バージョンで動作します

XCP 変換

目次 (1/2)

1. [XCP インストールとライセンス設定方法](#)

- XCP のインストール
- XVL Converter Base x64 のインストール
- XVL Converter Server x64 のインストール
- XVL Converter Plug-in x64 のインストール
- XVL Converter Plug-in のショートカット設定
- XCP のライセンスファイルの保存・設定

2. [変換の実行](#)

- VATIA V5 変換の実行
- Creo Parametric 変換の実行
- NX 変換の実行

3. [変換設定 \(共通\)](#)

5. 変換設定 (共通) ダイアログ

4. XVL Converter Plug-In x64 for CATIA V5

- [CATIA V5 \(組込型\) Importer](#)
 - 変換設定ダイアログ
- [CATIA V5 旧バージョンと新バージョンの変換設定ダイアログ対比](#)
 - 変換設定ダイアログ対比 (1/3)
 - 変換設定ダイアログ対比 (2/3)
 - 変換設定ダイアログ対比 (3/3)
- [CATIA V5 各種変換設定方法](#)
 - 省メモリー変換の設定方法
 - 単独線、単独点の変換設定方法
 - ポリゴンタイプの設定方法
 - 注記変換の設定方法
 - 環境変数

目次 (2/2)

5. XVL Converter Plug-In x64 for Creo Parametric

- [Creo Parametric \(組込型\) Importer](#)
 - 変換設定ダイアログ
- [Creo Parametric 旧バージョンと新バージョンの変換設定ダイアログ対比](#)
 - 変換設定ダイアログ対比 (1/3)
 - 変換設定ダイアログ対比 (2/3)
 - 変換設定ダイアログ対比 (3/3)
- [Creo Parametric 各種変換設定方法](#)
 - 省メモリー変換の設定方法
 - 単独線、単独点の変換設定方法
 - ポリゴンタイプの設定方法
 - 注記変換の設定方法
 - 環境変数

6. XVL Converter Plug-in x64 for NX

- [NX \(組込型\) Importer](#)
 - 変換設定ダイアログ
- [NX 旧バージョンと新バージョンの変換設定ダイアログ対比](#)
 - 変換設定ダイアログ対比 (1/3)
 - 変換設定ダイアログ対比 (2/3)
 - 変換設定ダイアログ対比 (3/3)
- [NX 各種変換設定方法](#)
 - 単独線、単独点の変換設定方法
 - ポリゴンタイプの設定方法
 - 注記・寸法変換の設定方法

7. [更新履歴](#)

XCP

インストールとライセンス設定方法

XCP のインストーラ

下記のファイルは自己解凍形式ファイルです。実行してインストーラを展開します


-  XVL_ConvPlug-in[CAD名]_x64- *_*.exe ← 自己解凍形式ファイル

自己解凍後、下記の3種類のインストーラを実行する

- XVL Converter Base x64 のインストール ← 1番最初にインストールする
Converter の基本モジュールです

 XVLConvBase_x64- *_*.exe

- XVL Converter Server x64 のインストール ← Base インストール後にインストールする
XCServer モジュールです (利用する CAD ごとに分かれています)

 XCServer[CAD名]_x64- *_*.exe

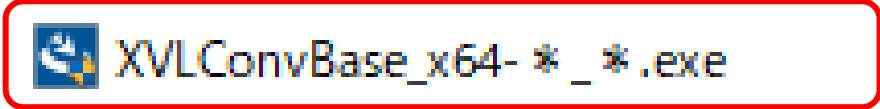
- XVL Converter Plug-in x64 のインストール ← Base と Server インストール後にインストールする
Converter Plug-in 固有のモジュールです (利用する CAD ごとに分かれています)

 XVLConv[CAD名]_x64- *_*.exe

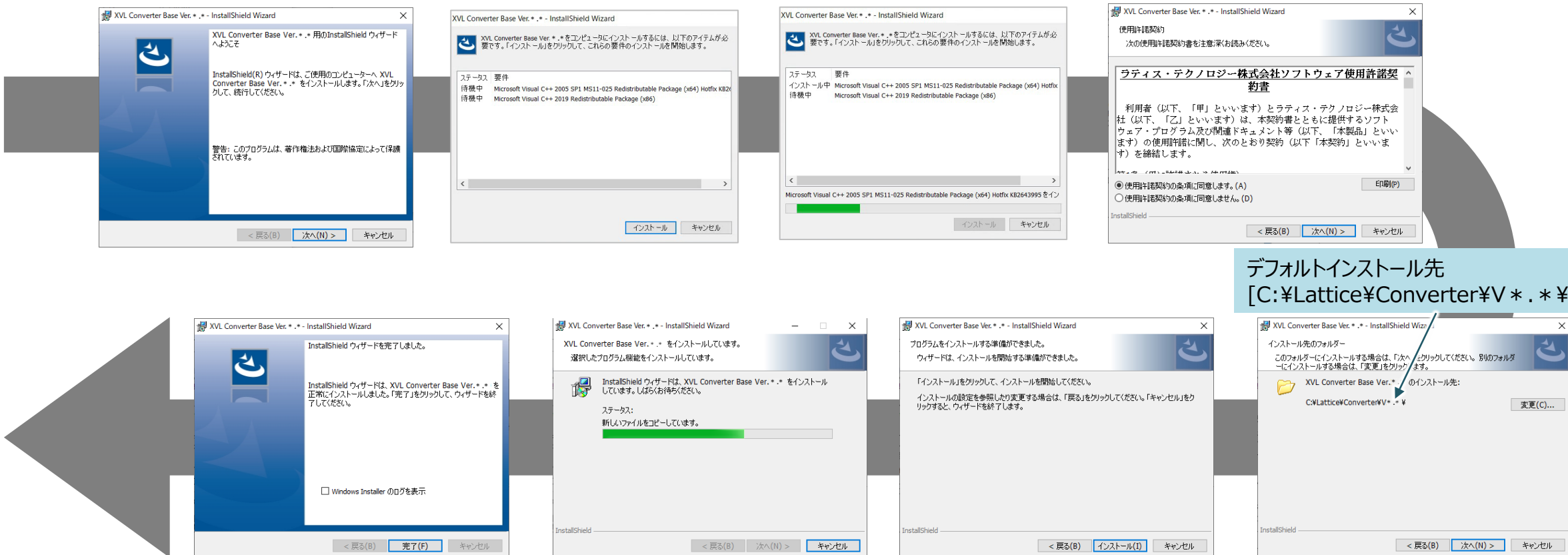
XVL Converter Base x64 のインストール

1. XVLConvBase_x64-*_* .exe を実行する

必ず最初にインストールしてください



2. インストール画面で、[次へ] を選択する



デフォルトインストール先
[C:¥Lattice¥Converter¥V * . * ¥]

⇒ XVL Converter Base のインストールが完了します

XVL Converter Server x64 のインストール

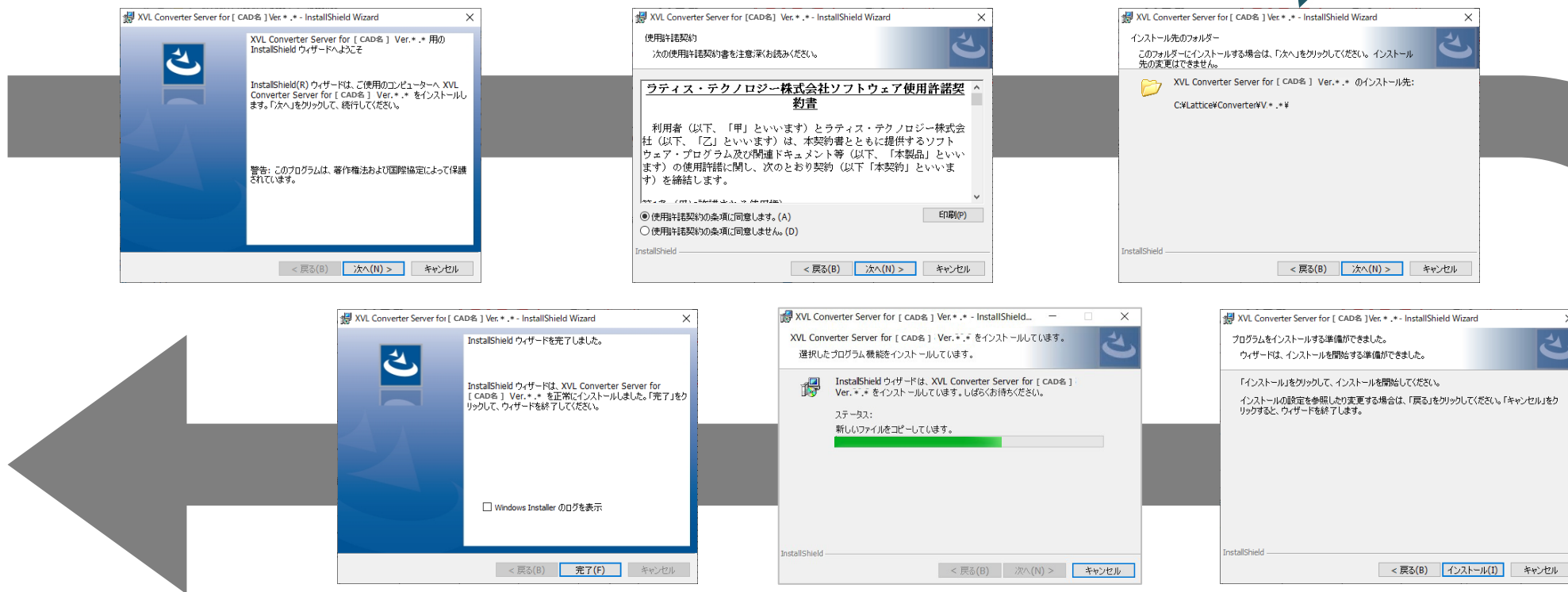
3. XCServer[CAD名]_x64-*_* .exe を実行する

必ず Base インストール後にインストールしてください



4. インストール画面で、[次へ] を選択する

XVL Converter Base のインストール先にインストールされます（変更不可）



⇒ XVL Converter Server のインストールが完了します

XVL Converter Plug-in x64 のインストール

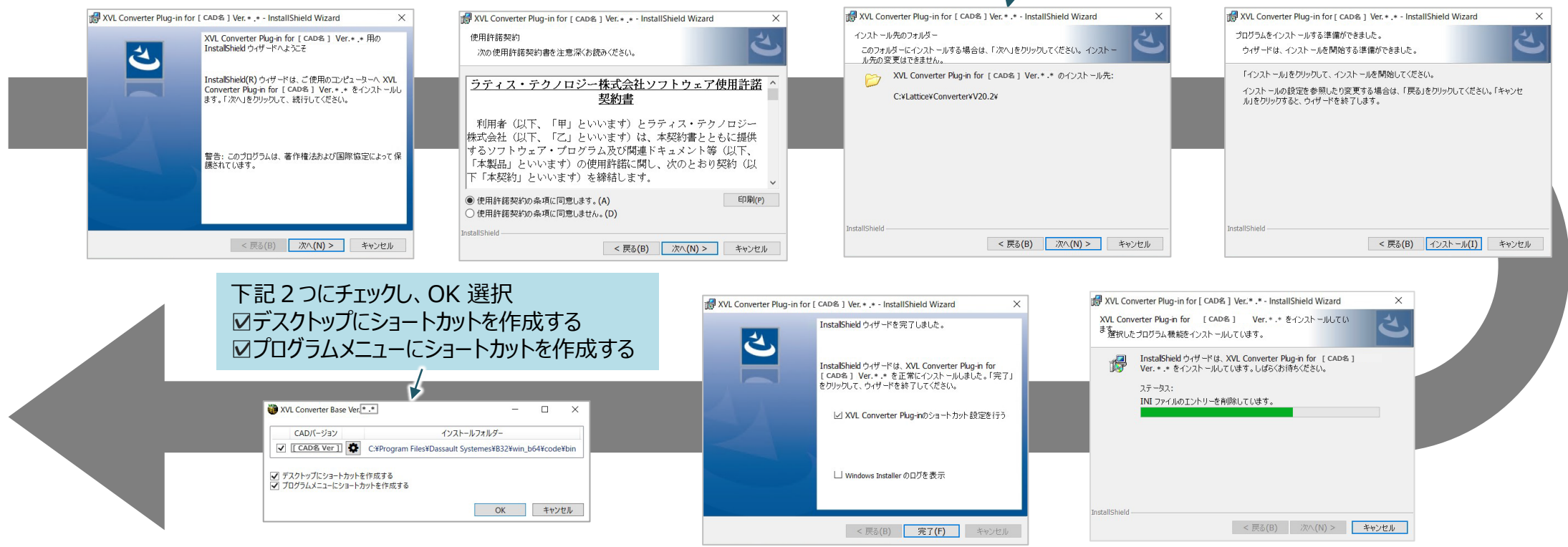
5. XVLConv[CAD名]_x64-*_* .exe を実行する



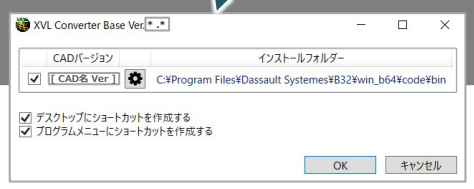
必ず Base と Server インストール後にインストールしてください

6. インストール画面で、[次へ] を選択する

XVL Converter Base のインストール先にインストールされます (変更不可)



下記 2 つにチェックし、OK 選択
 デスクトップにショートカットを作成する
 プログラムメニューにショートカットを作成する

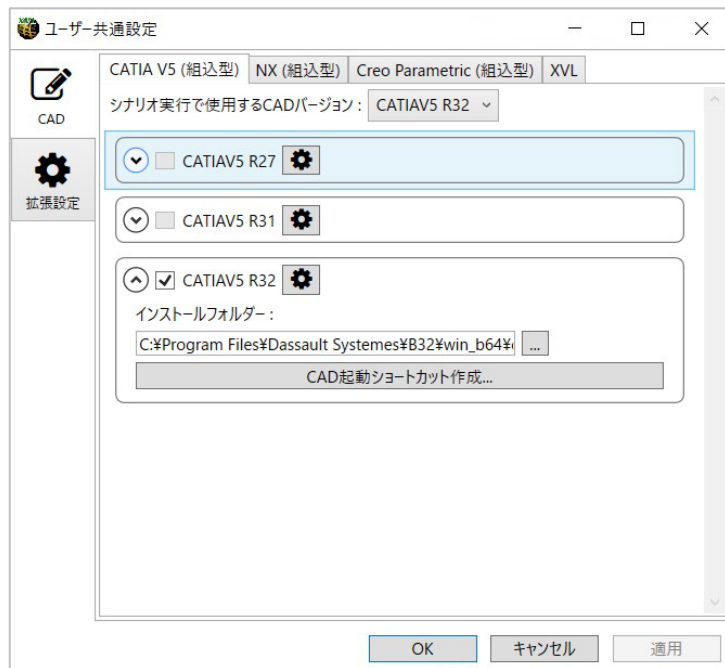


⇒ XVL Converter Plug-in のインストールが完了します

XVL Converter Plug-in のショートカット設定

インストール時に CAD のショートカットを作成していない場合は CAD 起動ショートカットを作成してください

1. [スタート] > [プログラム] > [XVL Converter Plug-in <バージョン>] > [ユーザー共通設定] を起動する
2. 各 CAD のタブから CAD のバージョンを選択し、CAD のインストールフォルダーを確認後、[CAD 起動ショートカット作成...] をクリックする



XCP のライセンスファイルの保存・設定

1. ライセンスファイルをライセンスフォルダに保存する



※ ライセンスファイル

XVL Converter Plug-in x64 for CATIA V5 : xvltranscatia5x64.ltl

XVL Converter Plug-in x64 for Creo Parametric : xvltransproex64.ltl

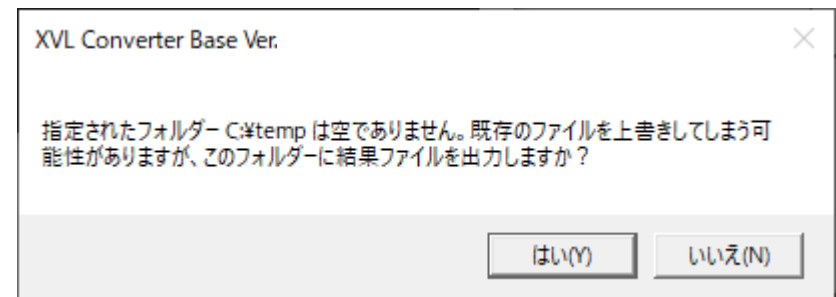
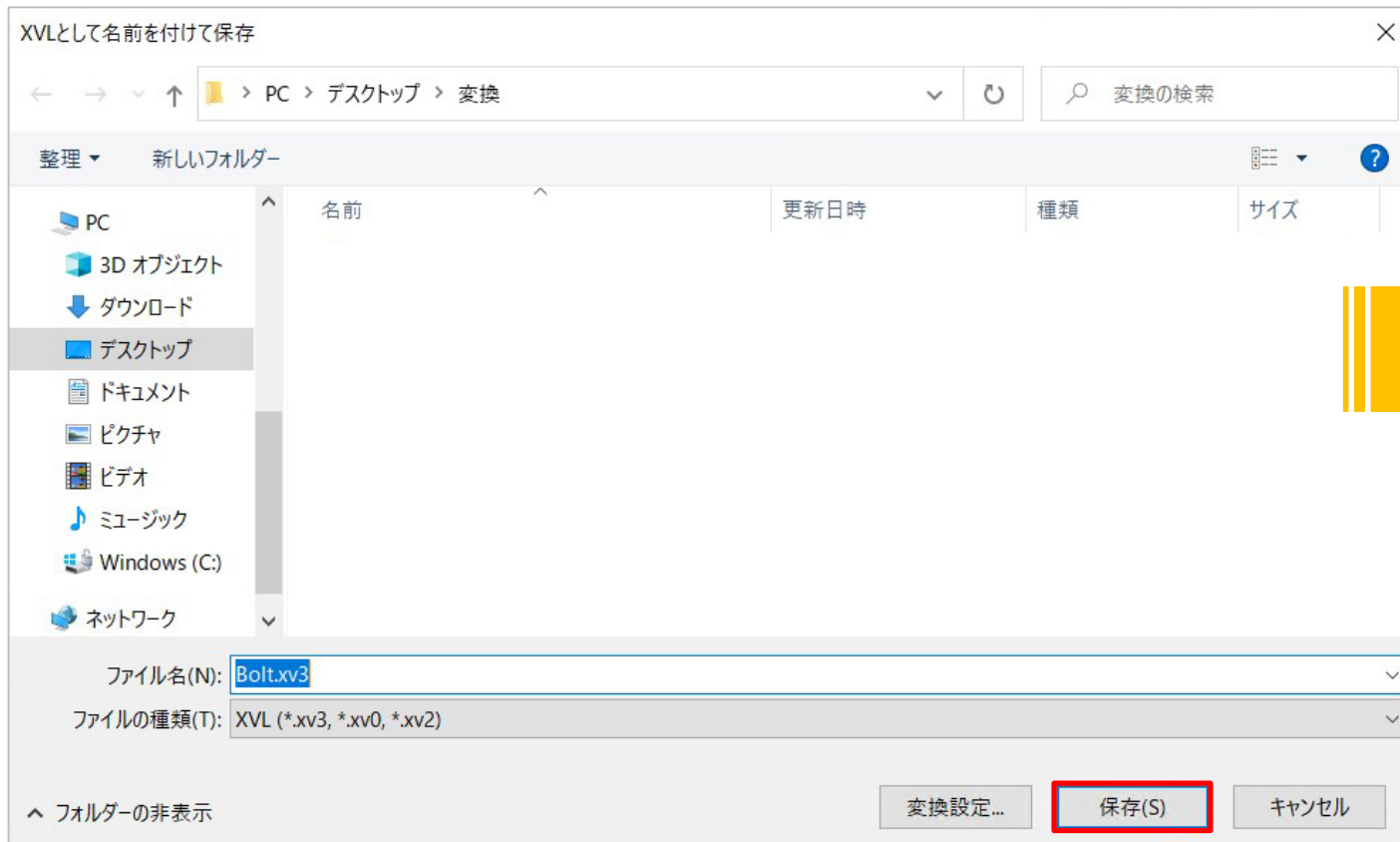
XVL Converter Plug-in x64 for NX : xvltransnxx64.ltl

※ ライセンスのバージョンを確認し、設定してください

XCP 変換の実行


CATIA V5 変換の実行

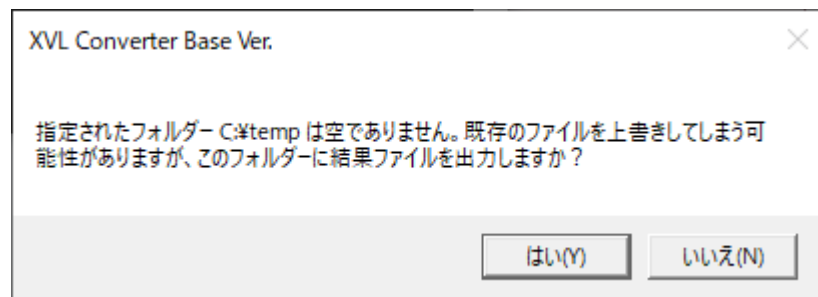
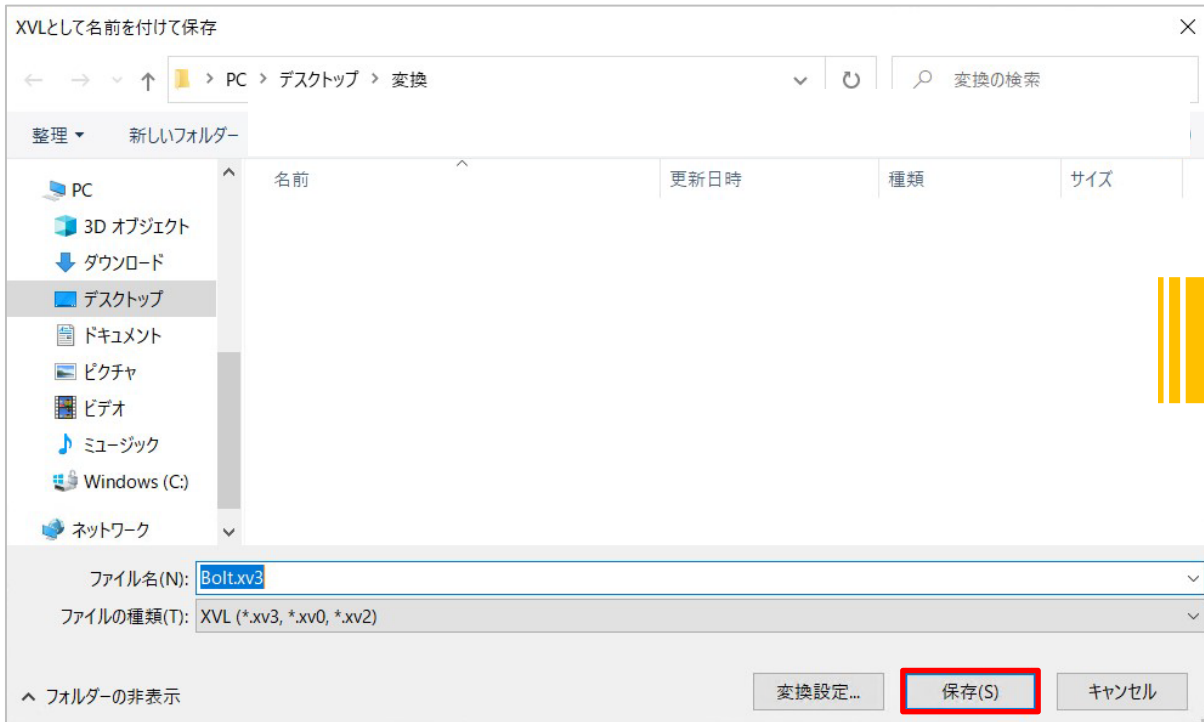
作成したデスクトップ上の CAD 起動ショートカットから CAD を起動し、モデルを読み込み、CAD のメニューからエクスポートを実行してください



出力先フォルダーが空でない場合は、既存のファイルが上書きされる可能性を警告するダイアログが表示されます。問題なければ[はい(Y)]ボタンを、出力先を選びなおす場合は[いいえ(N)]ボタンをクリックしてください。


Creo Parametric 変換の実行

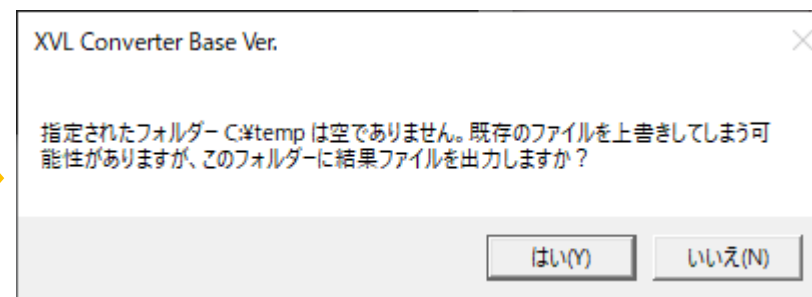
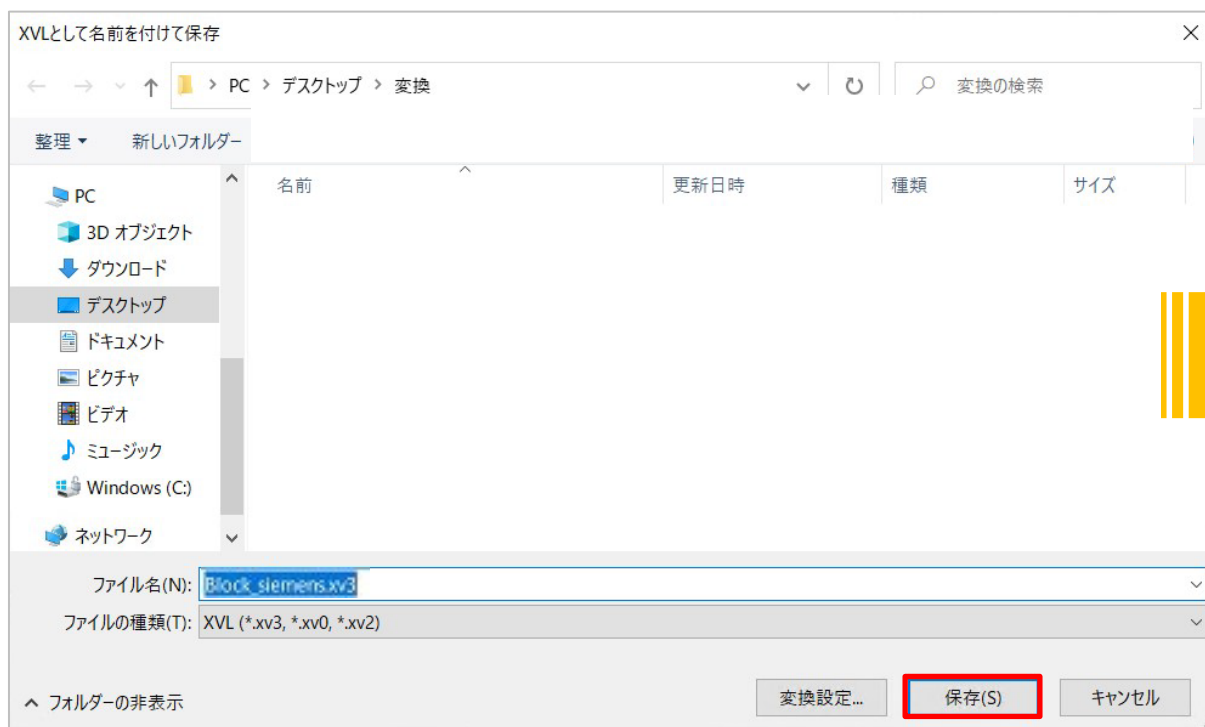
作成したデスクトップ上の CAD 起動ショートカット  から CAD を起動し、モデルを読み込み、CAD のメニューからエクスポートを実行してください



出力先フォルダーが空でない場合は、既存のファイルが上書きされる可能性を警告するダイアログが表示されます。問題なければ[はい(Y)]ボタンを、出力先を選びなおす場合は[いいえ(N)]ボタンをクリックしてください。

NX 変換の実行

作成したデスクトップ上の CAD 起動ショートカット  から CAD を起動し、モデルを読み込み、CAD のメニューからエクスポートを実行してください



出力先フォルダーが空でない場合は、既存のファイルが上書きされる可能性を警告するダイアログが表示されます。問題なければ[はい(Y)]ボタンを、出力先を選びなおす場合は[いいえ(N)]ボタンをクリックしてください。

XCP アンインストール方法

XCP アンインストール

下記、4種類のプログラムをアンインストールします

1. Ruby *.* bundler-*.*. for XVL Converter Ver. *.* ← 1番最初にアンインストールする
2. XVL Converter Plug-in for [CAD 名] Ver. *.* ← 2番目にアンインストールする
3. XVL Converter Server for [CAD 名] Ver. *.* ← 3番目にアンインストールする
4. XVL Converter Base Ver. *.* ← 4番目にアンインストールする



変換設定（共通）

CATIA V5

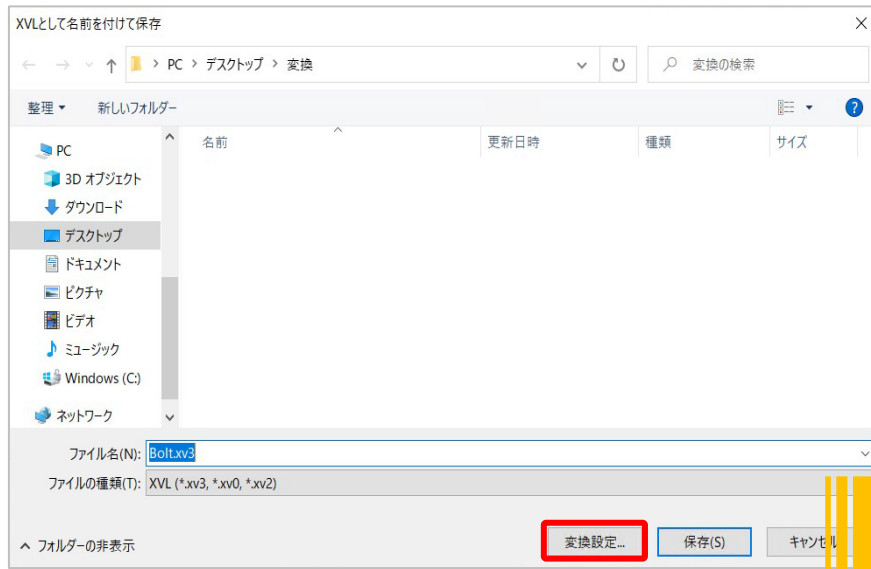
Creo Parametric

NX

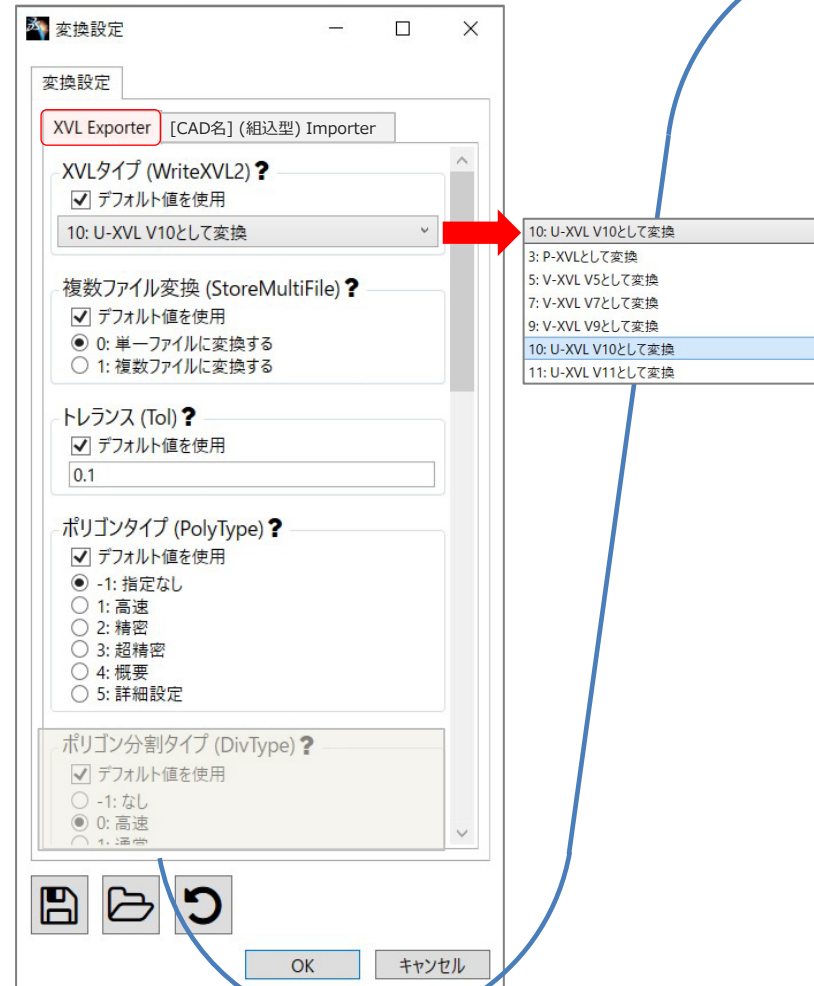
変換設定 (共通 1/2)

XVL Exporter タブ (各CAD共通)

新バージョン : [XVL として名前をつけて保存]ダイアログ



新バージョン : [変換設定]ダイアログ
XVL Exporter タブ



新バージョン : [変換設定]ダイアログ
XVL Exporter タブ



変換設定 (共通 2/2)

XVL Exporter タブ (各CAD共通)

新バージョン : [変換設定]ダイアログ
XVL Exporter タブ



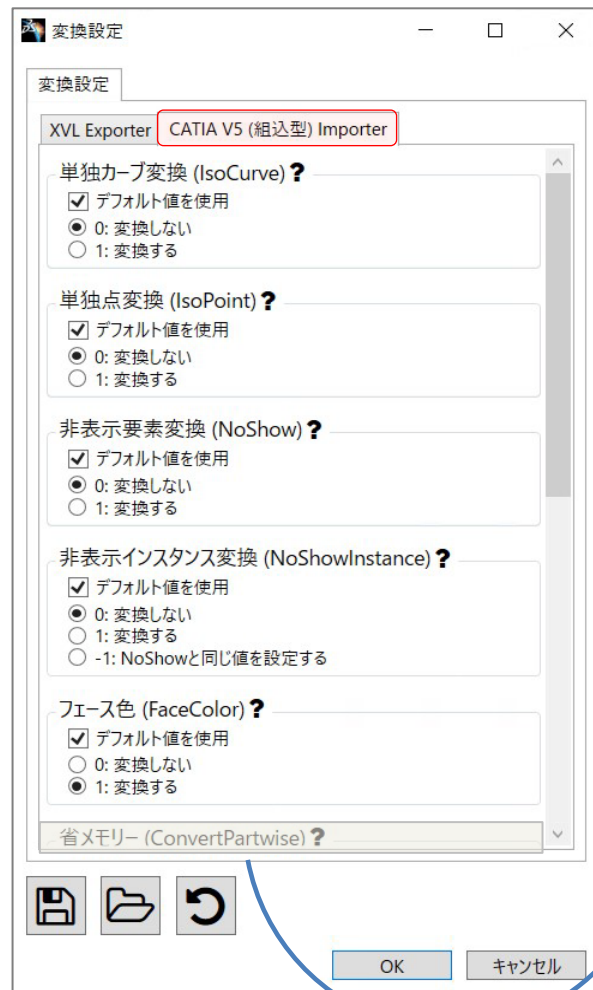
新バージョン : [変換設定]ダイアログ
XVL Exporter タブ



CATIA V5 (組込型) Importer

CATIA V5 変換設定ダイアログ

CATIA V5 (組込型) Importer タブの紹介



より詳細に設定して変換することができるようになりました

CATIA V5

旧バージョンと新バージョンの 変換設定ダイアログ対比の紹介

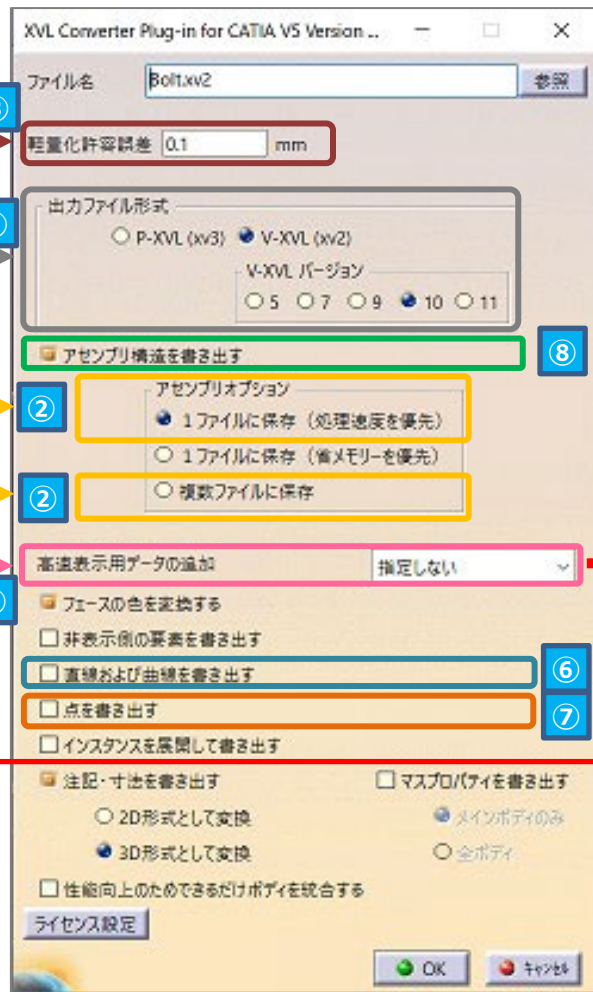
CATIA V5 変換設定ダイアログ対比 (1/3)

旧バージョン変換ダイアログと新バージョン変換ダイアログの対比

新バージョン：[変換設定]ダイアログ
XVL Exporter タブ

旧バージョン：[変換]ダイアログ

新バージョン：[変換設定]ダイアログ
XVL Exporter タブ



- ① XVL タイプ (出力ファイル形式)
- ② 複数ファイル変換 (アセンブリオプション)
- ③ トレランス (軽量化許容誤差)
- ④ ポリゴンタイプ (高速表示用データの追加)
- ⑤ ポリゴンタイプ [5.詳細設定] (ポリゴン分割タイプ)
- ⑥ 単独線変換 (直線および曲線を書き出す)
- ⑦ 単独点変換 (点を書き出す)
- ⑧ アセンブリ構造フラット化 (アセンブリ構造を書き出す)

CATIA V5 変換設定ダイアログ対比 (2/3)

旧バージョン変換ダイアログと新バージョン変換ダイアログの対比

旧バージョン：[変換]ダイアログ



注記・寸法を書き出すの
「3D形式として変換」機能は廃止

新バージョン：[変換設定]ダイアログ
XVL Exporter タブ

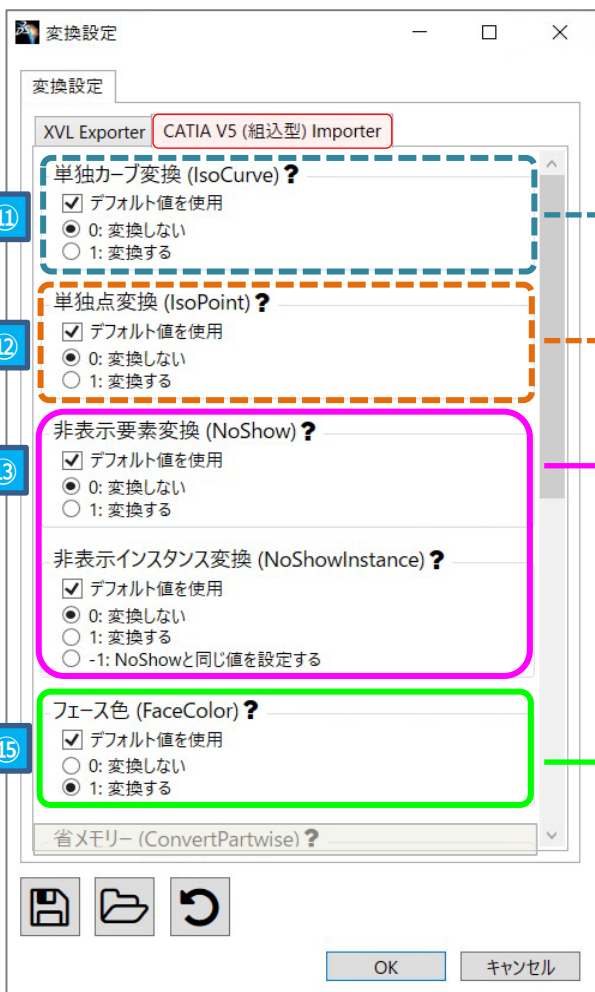


- ⑨注記変換・寸法変換
(注記・寸法を書き出す)
- ⑩ボディマージ
(性能向上のためできるだけボディを
統合する)

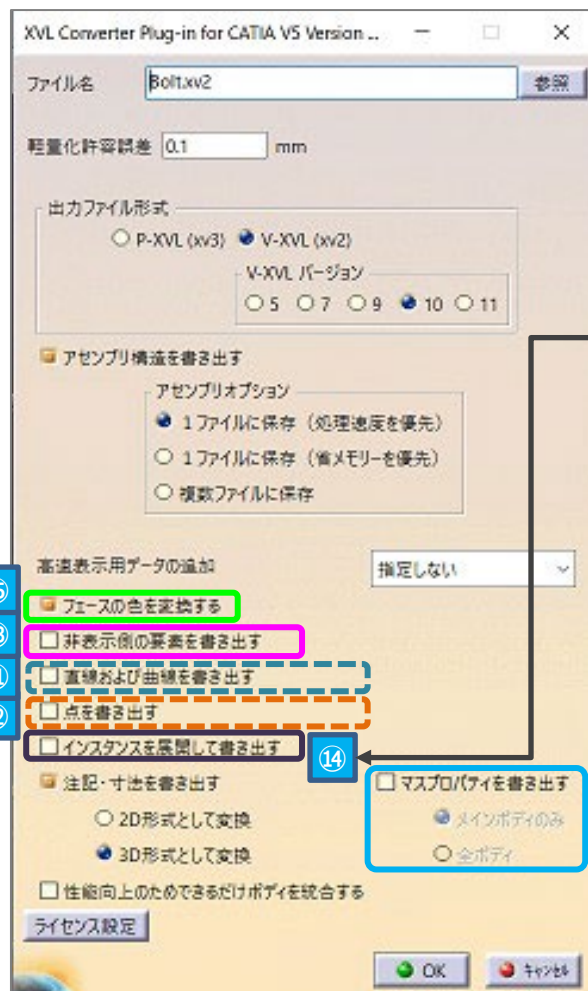
CATIA V5 変換設定ダイアログ対比 (3/3)

旧バージョン変換ダイアログと新バージョン変換ダイアログの対比

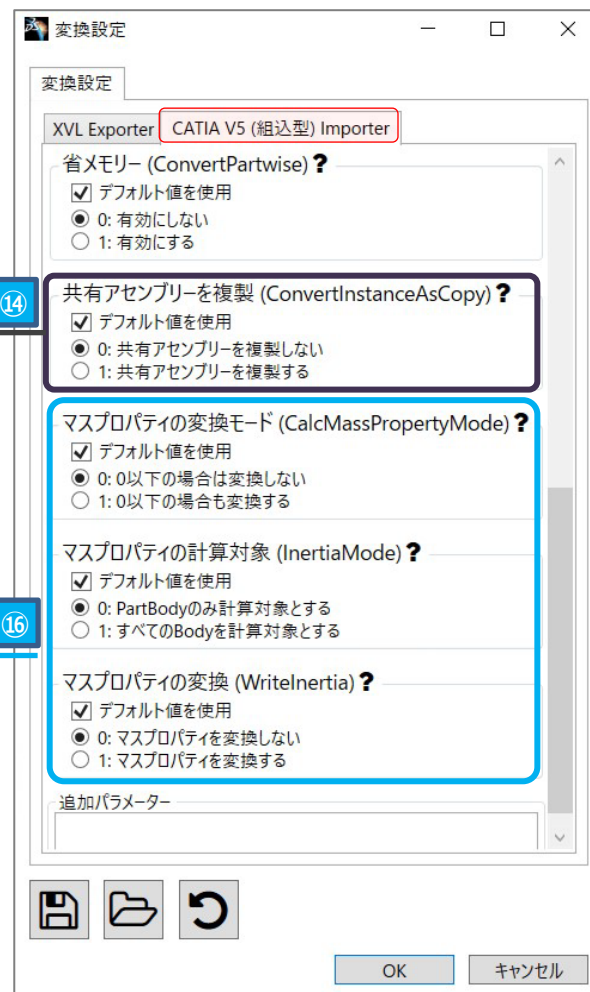
新バージョン : [変換設定]ダイアログ
CATIA V5 (組込型) Importer タブ



旧バージョン : [変換]ダイアログ



新バージョン : [変換設定]ダイアログ
CATIA V5 (組込型) Importer タブ



- ⑪ 単独カーブ変換 (直線および曲線を書き出す)
- ⑫ 単独点変換 (点を書き出す)
- ⑬ 非表示要素変換
- 非表示インスタンス変換
- ⑭ 共有アセンブリーを複製 (インスタンスや柔アセンブリーの共有状態を解除)
- ⑮ フェース色 (フェースの色を変換する)
- ⑯ マスプロパティの変換モード
- マスプロパティの計算対象
- マスプロパティの変換 (マスプロパティを書き出す)

CATIA V5

各種變換設定方法

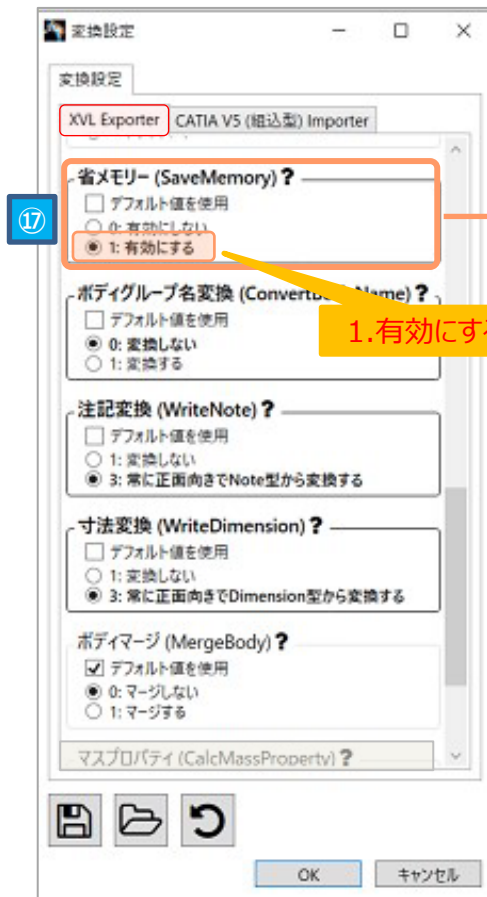
CATIA V5 省メモリー変換の設定方法

省メモリーで変換する場合の設定方法：各タブの省メモリーの設定を「1.有効にする」に設定します

新バージョン：[変換設定]ダイアログ
XVL Exporter タブ

旧バージョン：[変換]ダイアログ

新バージョン：[変換設定]ダイアログ
CATIA V5 (組込型) Importer タブ



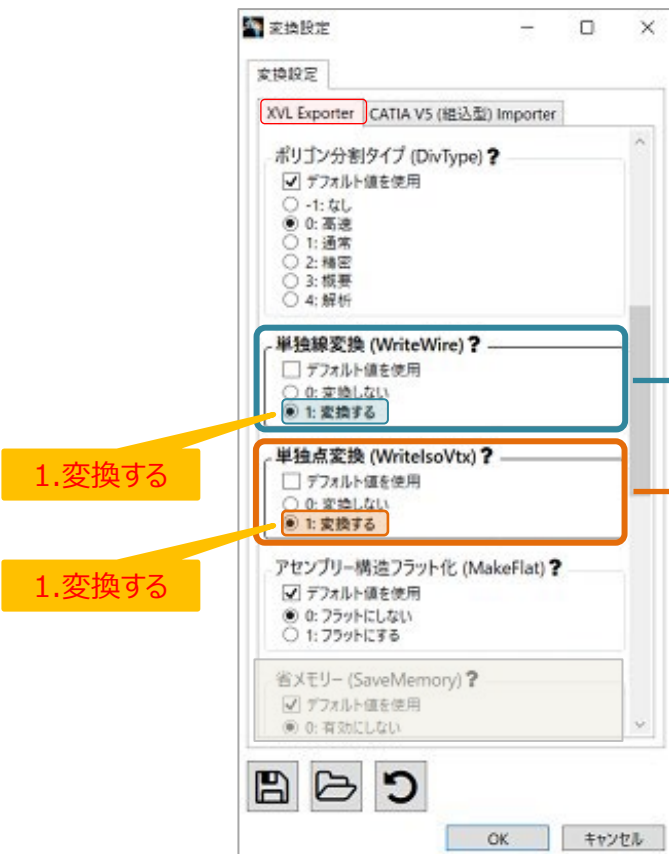
①省メモリー
(1ファイルに保存(省メモリーを優先))

1.有効にする

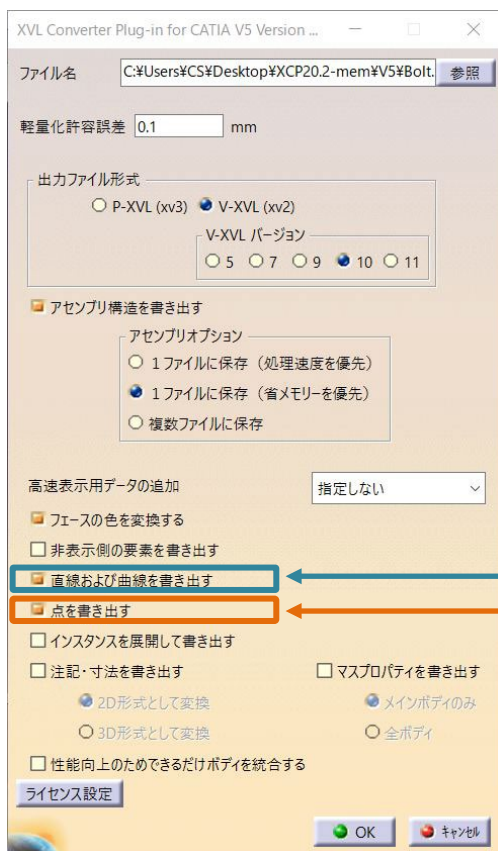
CATIA V5 単独線と単独点の設定方法

単独線と単独点を変換する場合の設定方法：各タブの設定を「1.変換する」に設定します

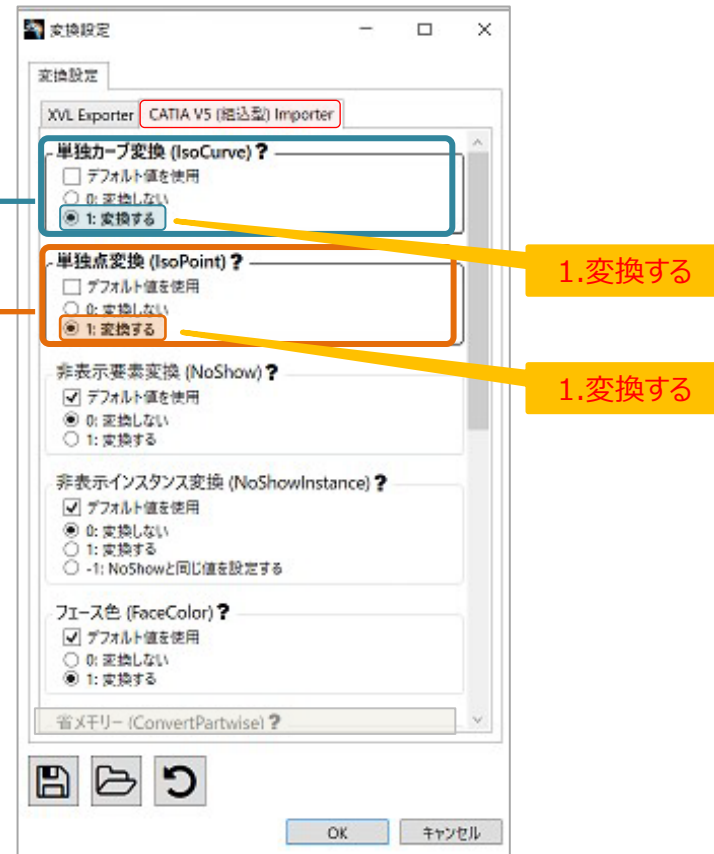
新バージョン：[変換設定]ダイアログ
XVL Exporter タブ



旧バージョン：[変換]ダイアログ



新バージョン：[変換設定]ダイアログ
CATIA V5 (組込型) Importer タブ

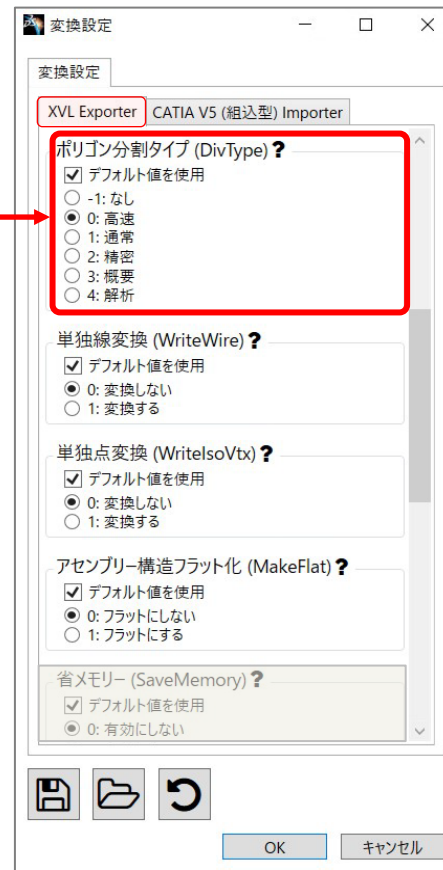
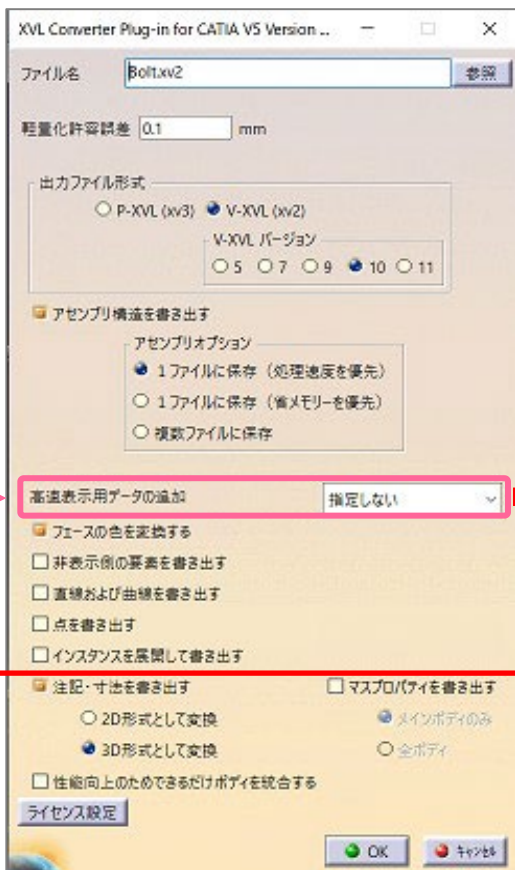
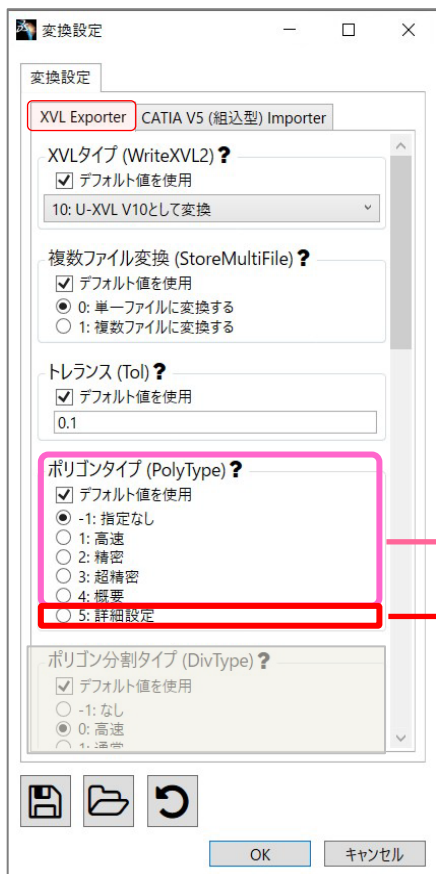


ポリゴンタイプを変換する場合の設定方法

新バージョン : [変換設定]ダイアログ
XVL Exporter タブ

旧バージョン : [変換]ダイアログ

新バージョン : [変換設定]ダイアログ
XVL Exporter タブ



「高速表示用データの追加」の各設定に対し
てポリゴンタイプの設定を以下のように設定

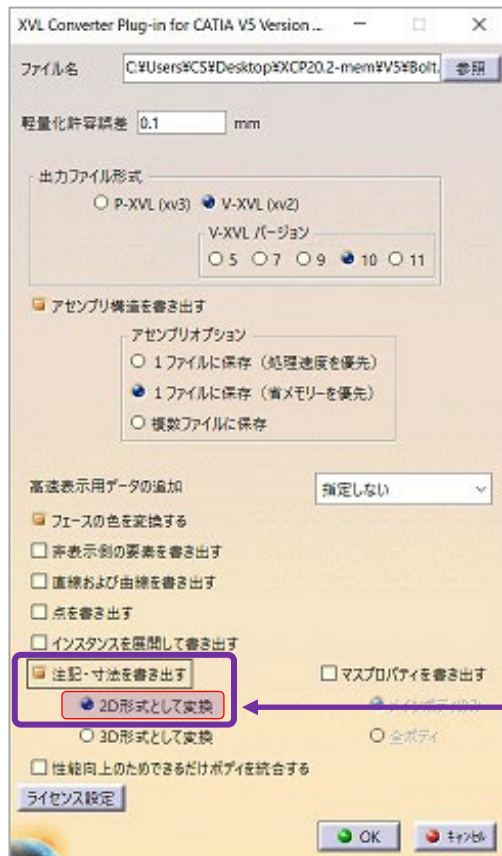
- 指定しない } ⇒ 1:高速
- 高速表示 } ⇒ 2:精密
- 精密表示 ⇒ 3:超精密
- 超精密表示 ⇒ 4:概要
- 概要表示 ⇒ 4:概要

ポリゴンタイプを 5:詳細設定 に設定した場合
ポリゴン分割タイプを設定

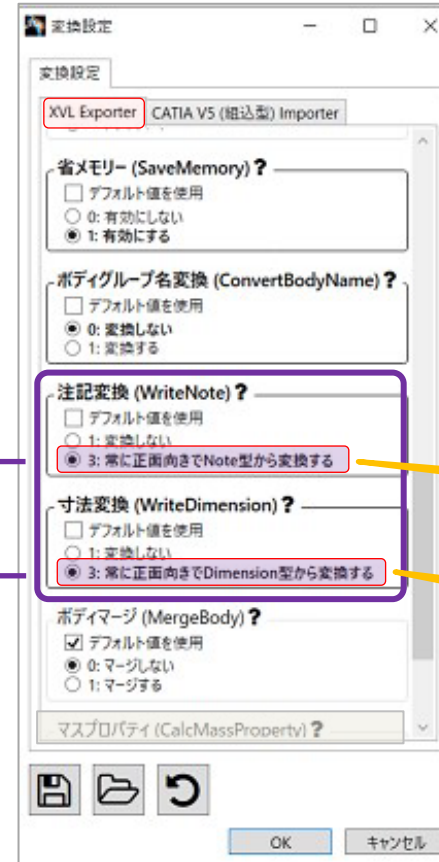
CATIA V5 注記・寸法の設定方法

注記変換・寸法変換をする場合の設定方法：旧「2D形式として変換」として変換します

旧バージョン：[変換]ダイアログ



新バージョン：[変換設定]ダイアログ
XVL Exporter タブ



旧バージョンの「2D形式として変換」は、新バージョンの注記変換、寸法変換では、「常に正面向きで Note/Dimension型から変換する」にメニュー名を変更しました

3.常に正面向きで Note型から変換する

3.常に正面向きで Dimension型から変換する

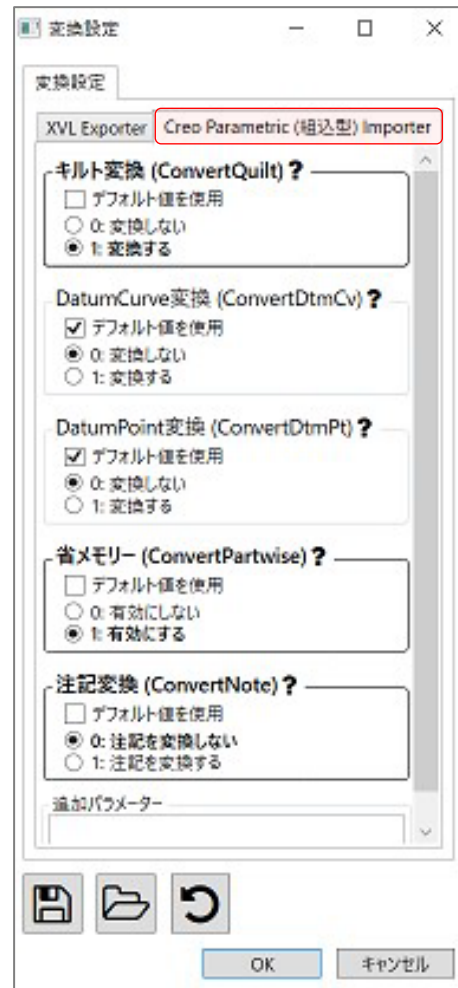
注記と寸法を別々に変換できるようになりました

- 無限線 / 無限平面の変換
下記の環境変数をセットすると、無限線/無限平面を変換することができます。
無限平面の変換
EL_CONV_INFINITE_PLANE=1
無限直線, 半無限直線の変換
EL_CONV_INFINITE_LINE=1
- 無限線 / 無限平面の表示状態
下記の環境変数をセットすると、無限線/無限平面を非表示として変換することができます。
無限平面の表示状態
EL_NOSHOW_INFINITE_PLANE=1
無限直線, 半無限直線の表示状態
EL_NOSHOW_INFINITE_LINE=1
- デフォルト平面の変換
下記の環境変数をセットすると、デフォルト平面(XY/YZ/ZX平面)の変換を抑制できます。
ELY_CAAENF_SKIP_DEFAULT_PLANE=1
- マスプロパティの単位系
下記の環境変数をセットすると、マスプロパティの単位系をCATIA V5に合わせることができます。
ELY_CAAENF_MASSPROP_UNIT=1
- 非活動化されたインスタンスの変換
下記の環境変数をセットすると、非活動化されたインスタンスを非表示として変換することができます。
ELY_CAAENF_CNV_SUPPRESSED_INSTANCE=1

(組込型) Importer Creo Parametric

Creo Parametric 変換設定ダイアログ

Creo Parametric (組込型) Importer タブ



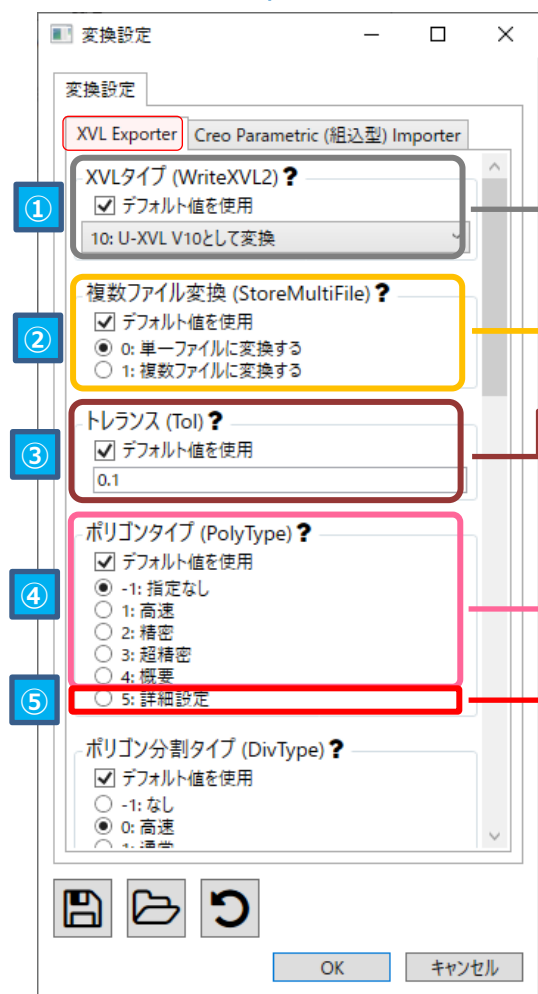
より詳細に設定して変換することができるようになりました

Creo Parametric 旧バージョンと新バージョンの 変換設定ダイアログ対比

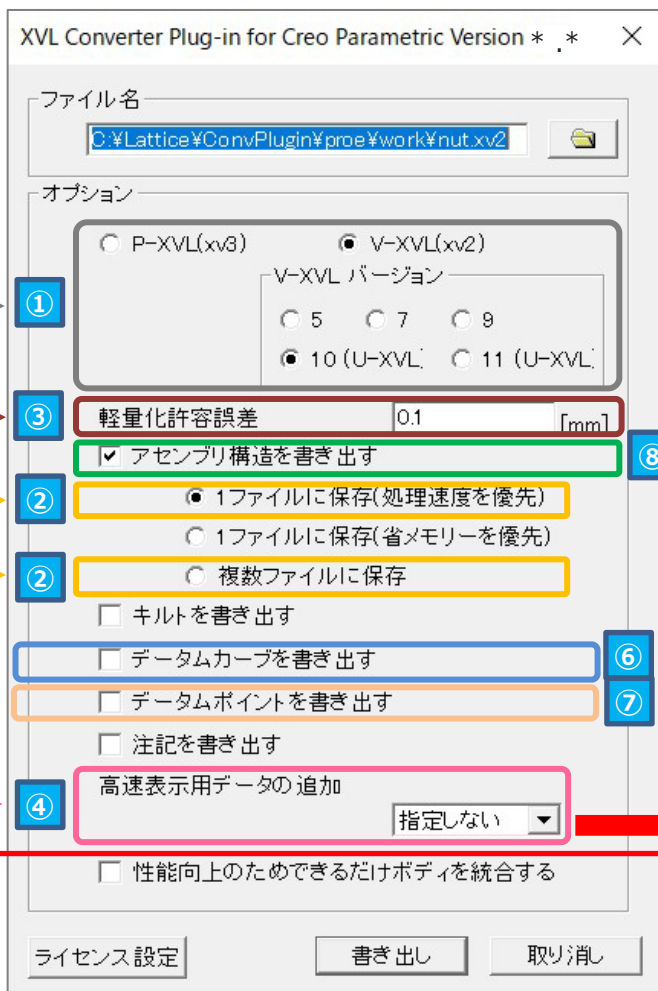
Creo Parametric 変換設定ダイアログ対比 (1/3)

旧バージョン変換ダイアログと新バージョン変換ダイアログの対比

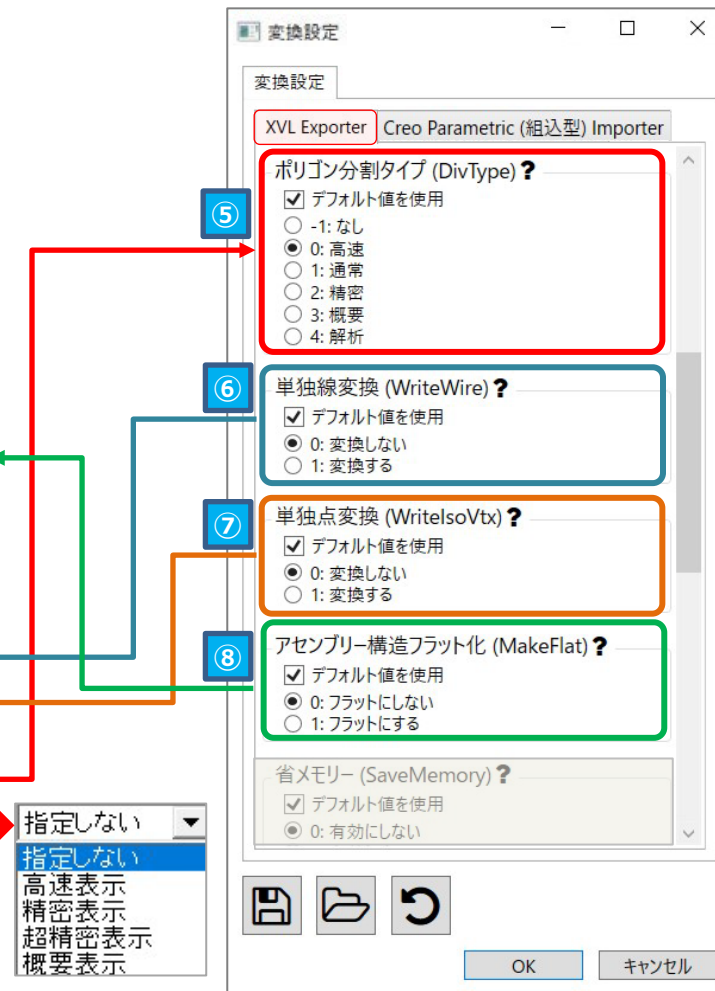
新バージョン : [変換設定]ダイアログ
XVL Exporter タブ



旧バージョン : [変換]ダイアログ



新バージョン : [変換設定]ダイアログ
XVL Exporter タブ

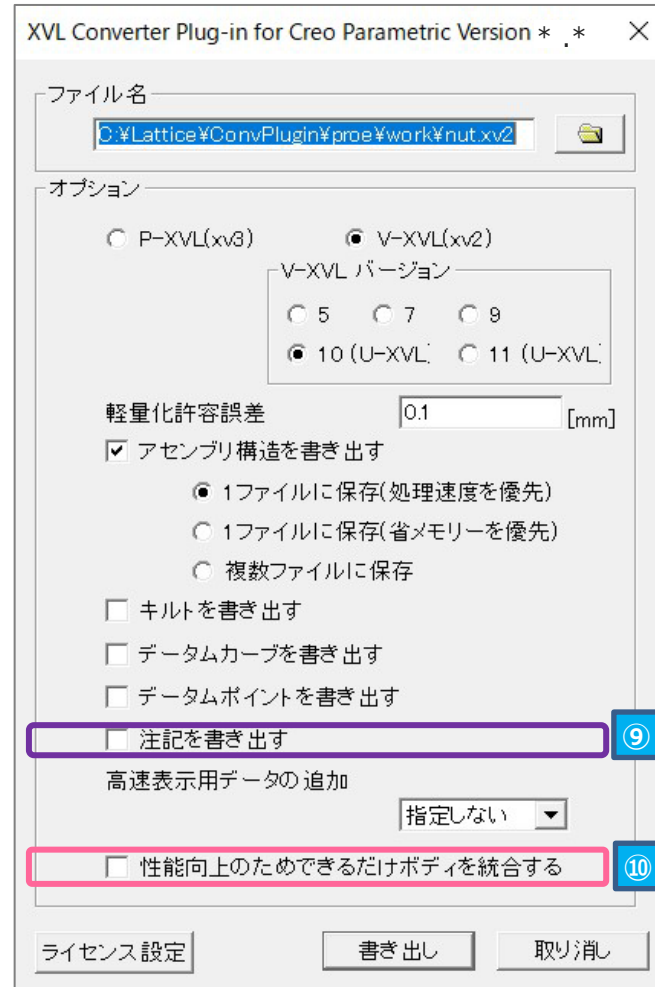


- ① XVL タイプ
(出力ファイル形式)
- ② 複数ファイル変換
(アセンブリオプション)
- ③ トレランス
(軽量化許容誤差)
- ④ ポリゴンタイプ
(高速表示用データの追加)
- ⑤ ポリゴンタイプ [5.詳細設定]
(ポリゴン分割タイプ)
- ⑥ 単独線変換
(データムカーブを書き出す)
- ⑦ 単独点変換
(データムポイントを書き出す)
- ⑧ アセンブリ構造フラット化
(アセンブリ構造を書き出す)

Creo Parametric 変換設定ダイアログ対比 (2/3)

旧バージョン変換ダイアログと新バージョン変換ダイアログの対比

旧バージョン : [変換]ダイアログ



新バージョン : [変換設定]ダイアログ
XVL Exporter タブ

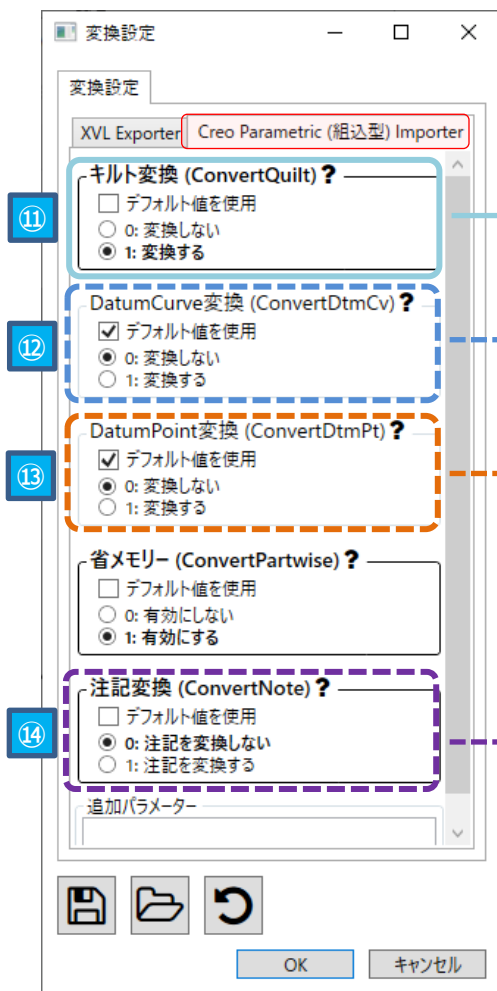


- ⑨ 注記変換
(注記を書き出す)
- ⑩ ボディマージ
(性能向上のためできるだけボディを統合する)

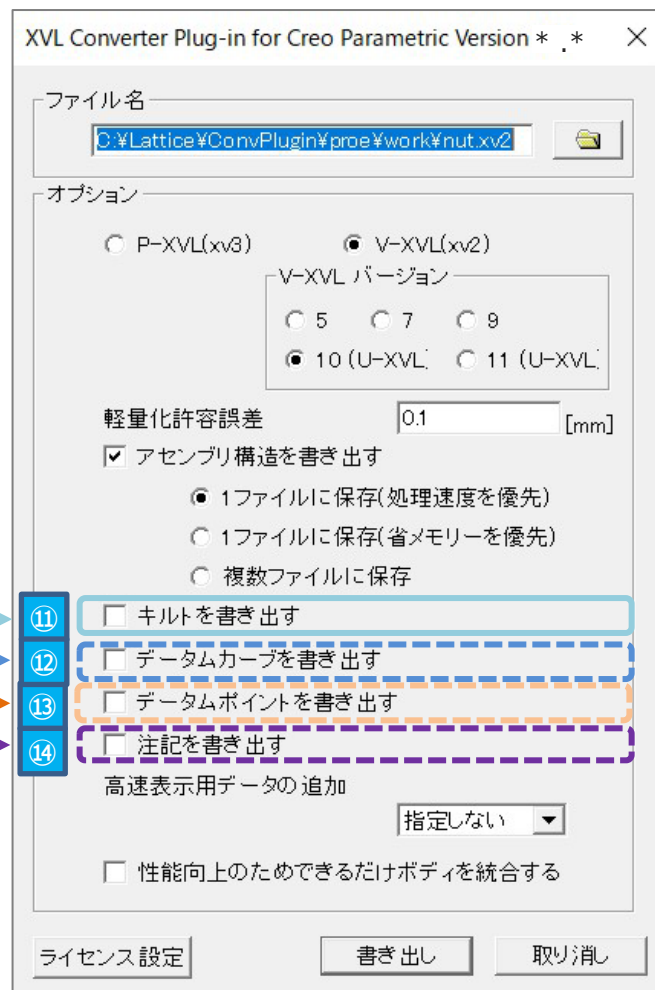
Creo Parametric 変換設定ダイアログ対比 (3/3)

旧バージョン変換ダイアログと新バージョン変換ダイアログの対比

新バージョン : [変換設定]ダイアログ
Creo Parametric (組込型) Importer タブ



旧バージョン : [変換]ダイアログ



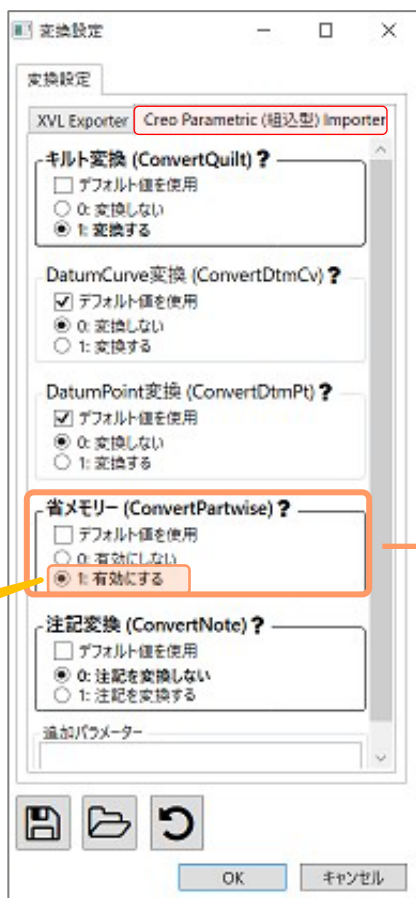
- ⑪キルト変換
(キルトを書き出す)
- ⑫DatumCurve変換
(データムカーブを書き出す)
- ⑬DatumPoint変換
(データムポイントを書き出す)
- ⑭注記変換
(注記を書き出す)

Creo Parametric 各種變換設定方法

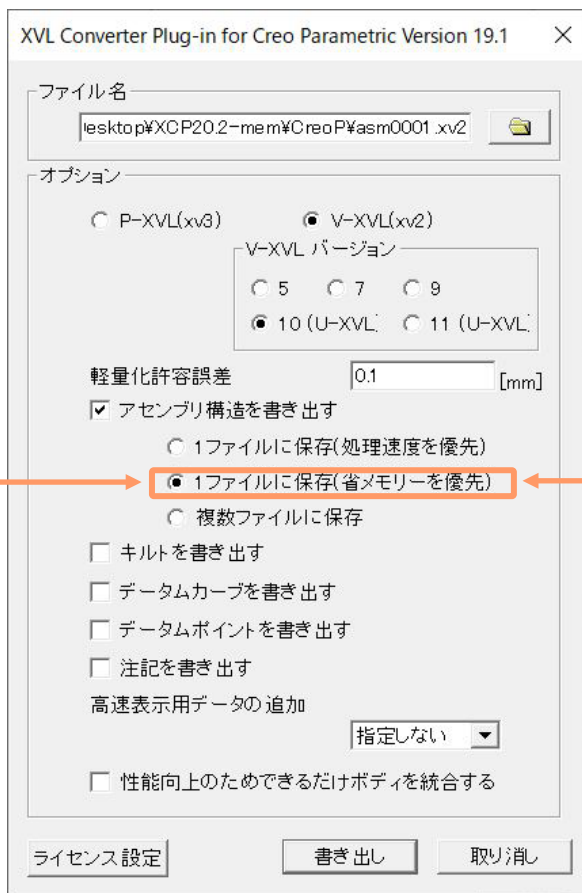
Creo Parametric 省メモリー変換の設定方法

省メモリーで変換する場合の設定方法：各タブの省メモリーの設定を「1.有効にする」に設定します

新バージョン：[変換設定]ダイアログ
Creo Parametric (組込型) Importer タブ



旧バージョン：[変換]ダイアログ



新バージョン：[変換設定]ダイアログ
XVL Exporter タブ



⑰省メモリー
(1ファイルに保存(省メモリーを優先))

1.有効にする

1.有効にする

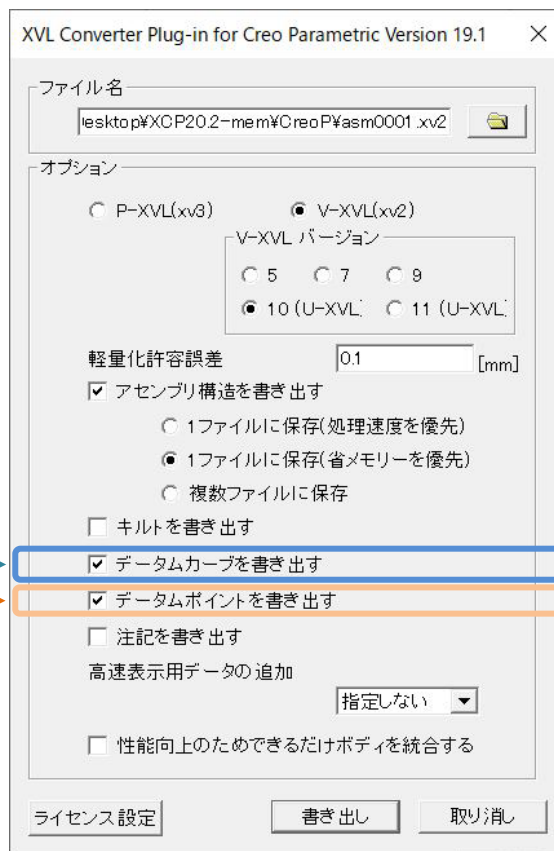
Creo Parametric 単独線、単独点の変換設定方法

単独線と単独点を変換する場合の設定方法：各タブの設定を「1.変換する」に設定します

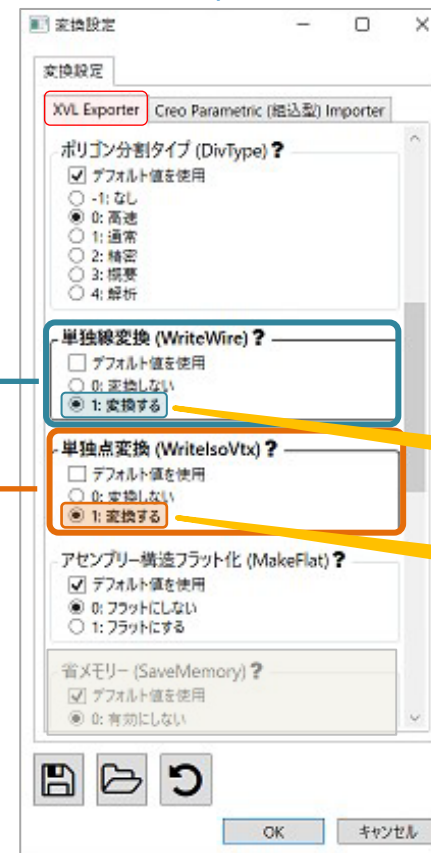
新バージョン：[変換設定]ダイアログ
Creo Parametric (組込型) Importer タブ



旧バージョン：[変換]ダイアログ



新バージョン：[変換設定]ダイアログ
XVL Exporter タブ

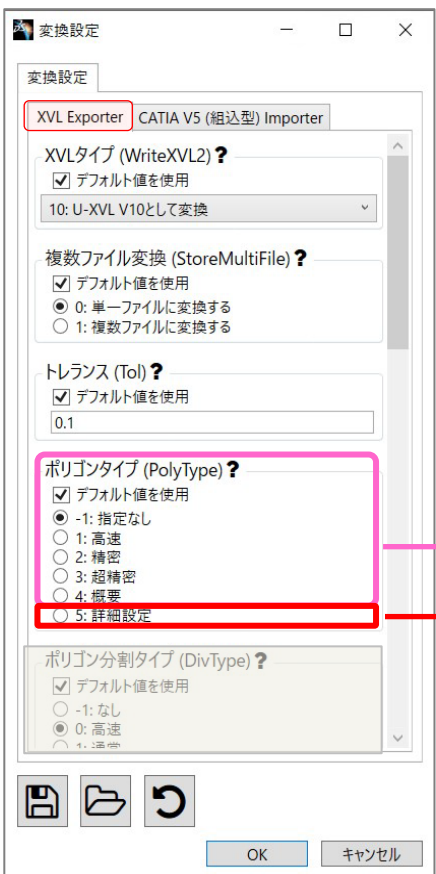


単独線と単独点を別々に変換できるようになりました

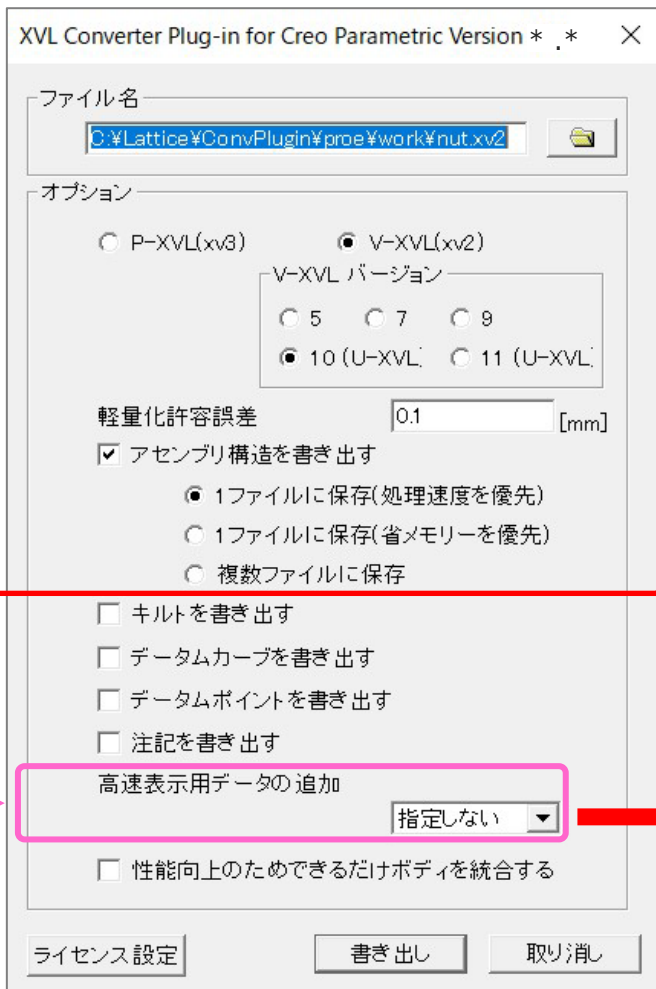
Creo Parametric ポリゴンタイプの設定方法 (旧「高速表示用データの追加」設定)

ポリゴンタイプを変換する場合の設定方法

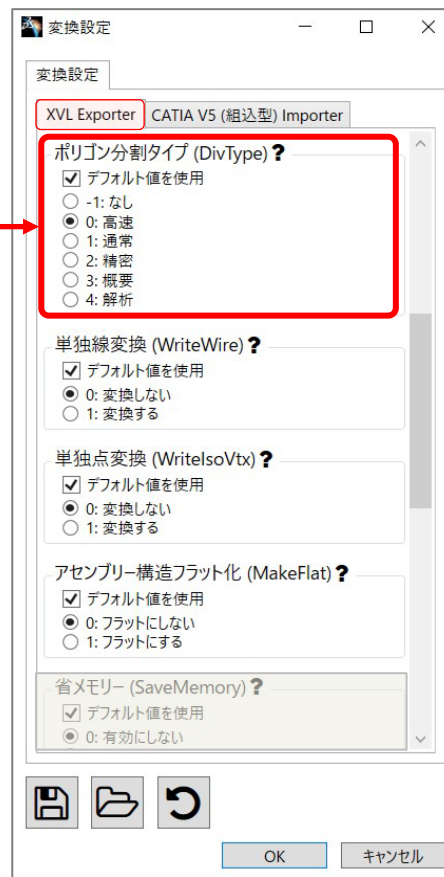
新バージョン : [変換設定]ダイアログ
XVL Exporter タブ



旧バージョン : [変換]ダイアログ



新バージョン : [変換設定]ダイアログ
XVL Exporter タブ



「高速表示用データの追加」の各設定に対して
ポリゴンタイプの設定を以下のように設定

指定しない	} ⇒ 1:高速
高速表示	
精密表示	⇒ 2:精密
超精密表示	⇒ 3:超精密
概要表示	⇒ 4:概要

ポリゴンタイプを 5:詳細設定 に設定した場合
ポリゴン分割タイプを設定

- 指定しない
- 指定しない
- 高速表示
- 精密表示
- 超精密表示
- 概要表示

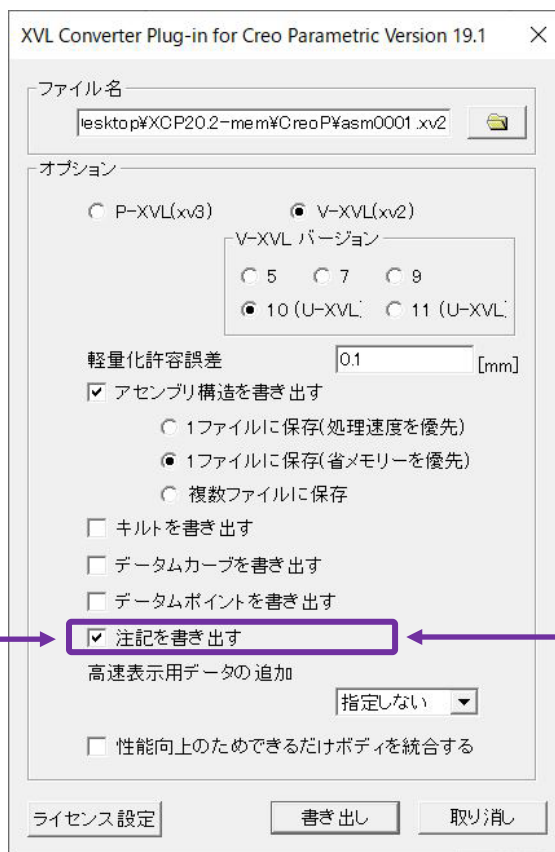
Creo Parametric 注記変換の設定方法

注記変換をする場合の設定方法

新バージョン : [変換設定]ダイアログ
Creo Parametric (組込型) Importer タブ



旧バージョン : [変換]ダイアログ



新バージョン : [変換設定]ダイアログ
XVL Exporter タブ



3. 常に正面向きで Note型から変換する

1. 注記を変換する

無限線 / 無限平面の変換

下記の環境変数をセットすると、無限線/無限平面を変換することができます。(Creo Parametricの無限平面はデータム平面に相当します。)

無限平面の変換

```
EL_CONV_INFINITY_PLANE=1
```

無限直線, 半無限直線の変換

```
EL_CONV_INFINITY_LINE=1
```

スケルトンパートの変換

下記の環境変数をシステムにセットすることでスケルトンパートの変換を抑制できます。

```
PRNT_SKIP_SKELETON_MODEL = 1
```

座標系の変換

下記の環境変数をシステムにセットすることで座標系の変換を抑制できます。

```
PRNT_CONVERT_DTMCS = 0
```

ビューの変換

下記の環境変数をシステムにセットすることでビューの変換を抑制できます。

```
PRNT_EXPORT_VIEW = 0
```

非表示要素の変換

下記の環境変数をシステムにセットすることで非表示要素の変換を抑制できます。

```
PRNT_EXPORT_BLANKED_ELEMENT = 0
```

非表示ソリッドの変換

下記の環境変数をシステムにセットすることで非表示ソリッドの変換を抑制できます。

```
PRNT_CONVERT_DISPLAYSOLID = 2
```

透明度の変換

下記の環境変数をシステムにセットすることで透明度の変換を抑制できます。

```
PRNT_CONVERT_TRANSPARENCY = 0
```

システム属性の変換

下記の環境変数をシステムにセットすることでシステム属性 (密度, 質量, 体積) を変換することができます。

```
PRNT_CONV_SYSTEM_PARAMETER = 1
```

非表示構成部品の変換

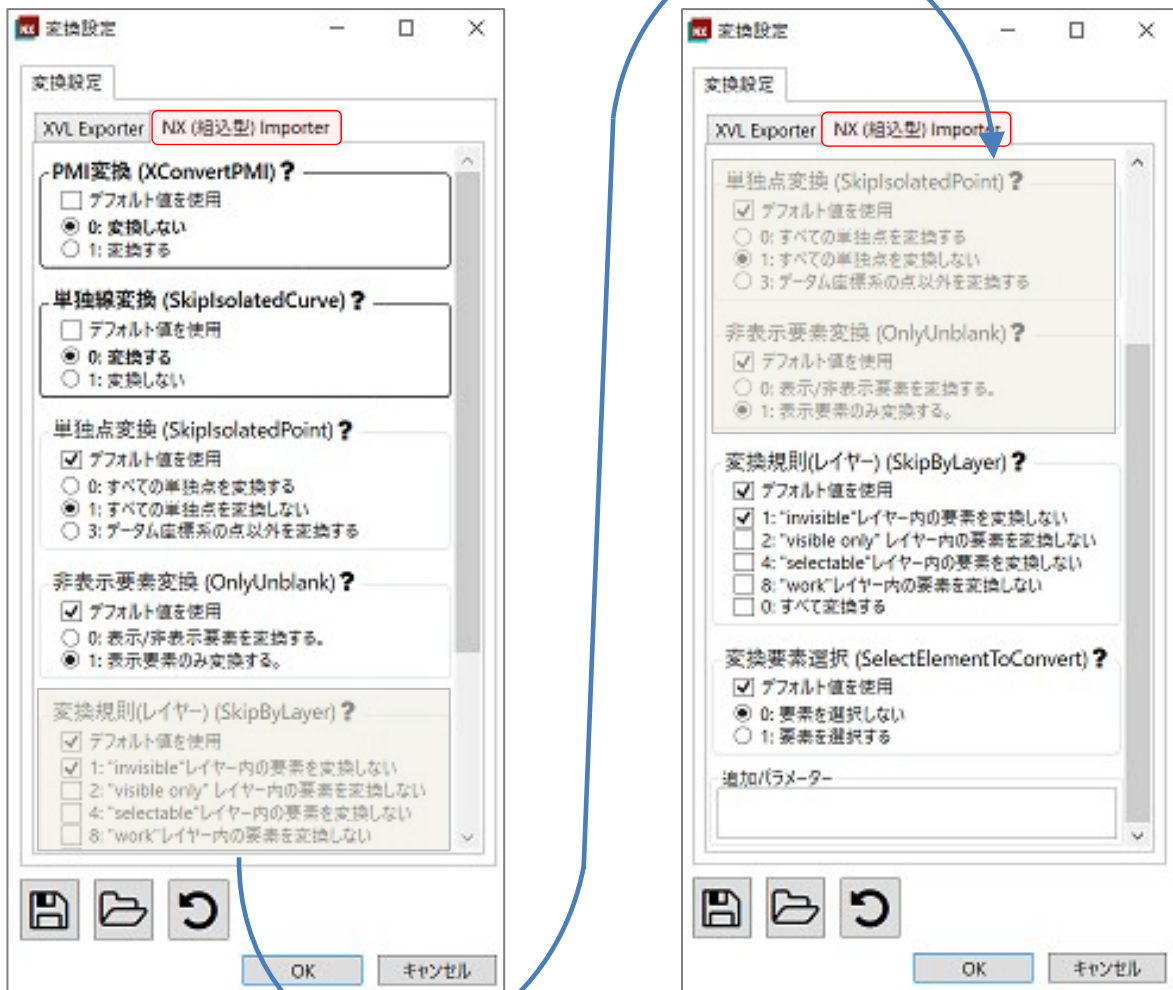
下記の環境変数をシステムにセットすることで非表示構成部品の変換を抑制できます。

```
PRNT_EXPORT_BLANKED_PART = 0
```

NX (組込型) Importer

NX 変換設定ダイアログ (1)

NX (組込型) Importer タブ



NX

旧バージョンと新バージョンの 変換設定ダイアログ対比

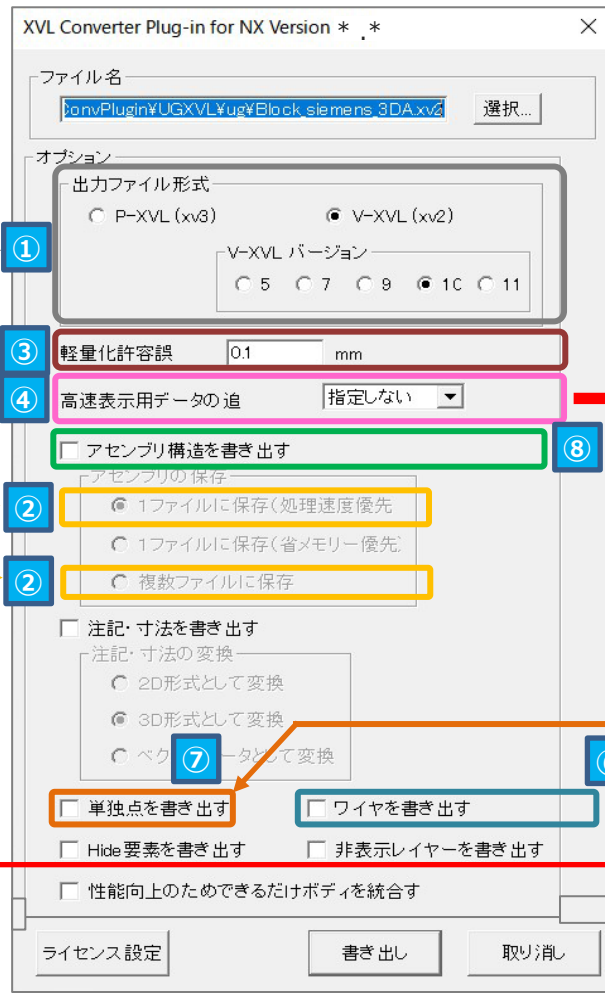
NX 変換設定ダイアログ対比 (1/3)

旧バージョン変換ダイアログと新バージョン変換ダイアログの対比

新バージョン : [変換設定]ダイアログ
XVL Exporter タブ

旧バージョン : [変換]ダイアログ

新バージョン : [変換設定]ダイアログ
XVL Exporter タブ

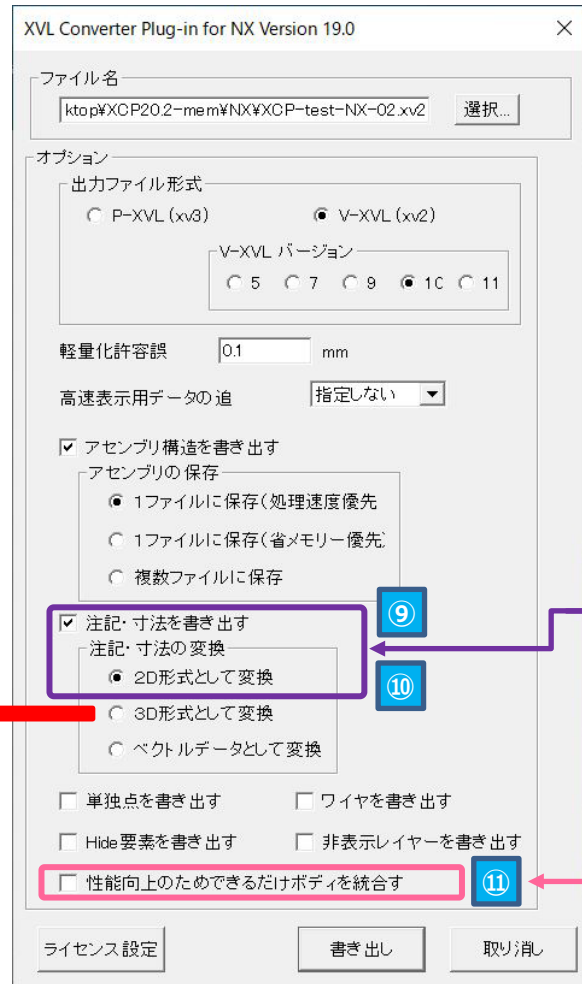


- ① XVL タイプ (出力ファイル形式)
- ② 複数ファイル変換 (アセンブリの保存)
- ③ トレランス (軽量化許容誤差)
- ④ ポリゴンタイプ (高速表示用データの追加)
- ⑤ ポリゴンタイプ [5.詳細設定] (ポリゴン分割タイプ)
- ⑥ 単独線変換 (データムカーブを書き出す)
- ⑦ 単独点変換 (データムポイントを書き出す)
- ⑧ アセンブリ構造フラット化 (アセンブリ構造を書き出す)

NX 変換設定ダイアログ対比 (2/3)

旧バージョン変換ダイアログと新バージョン変換ダイアログの対比

旧バージョン : [変換]ダイアログ



注記・寸法を書き出すの
「3D形式として変換」機能は廃止 ←

新バージョン : [変換設定]ダイアログ
XVL Exporter タブ



- ⑨ 注記変換
(注記・寸法を書き出す)
- ⑩ 寸法変換
(注記・寸法を書き出す)
- ⑪ ボディマージ
(性能向上のためできるだけボディを
統合する)

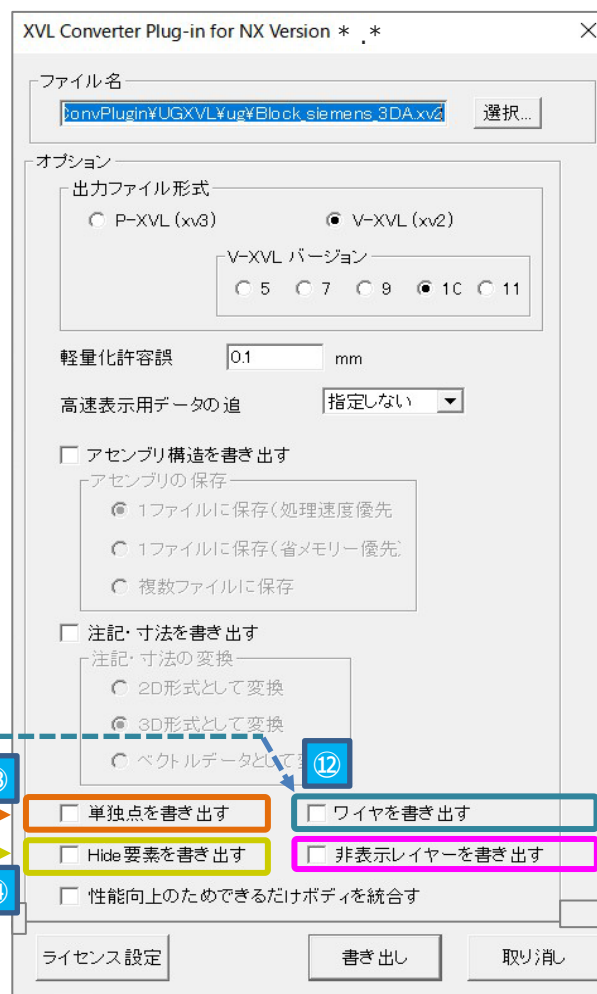
NX 変換設定ダイアログ対比 (3/3)

旧バージョン変換ダイアログと新バージョン変換ダイアログの対比

新バージョン : [変換設定]ダイアログ
NX (組込型) Importer タブ

旧バージョン : [変換]ダイアログ

新バージョン : [変換設定]ダイアログ
NX (組込型) Importer タブ



- ⑫ 単独線変換 (ワイヤを書き出す)
- ⑬ 単独点変換 (単独点を書き出す)
- ⑭ 非表示要素変換 (Hide要素を書き出す)
- ⑮ 変換規則(レイヤー) (非表示レイヤーを書き出す)

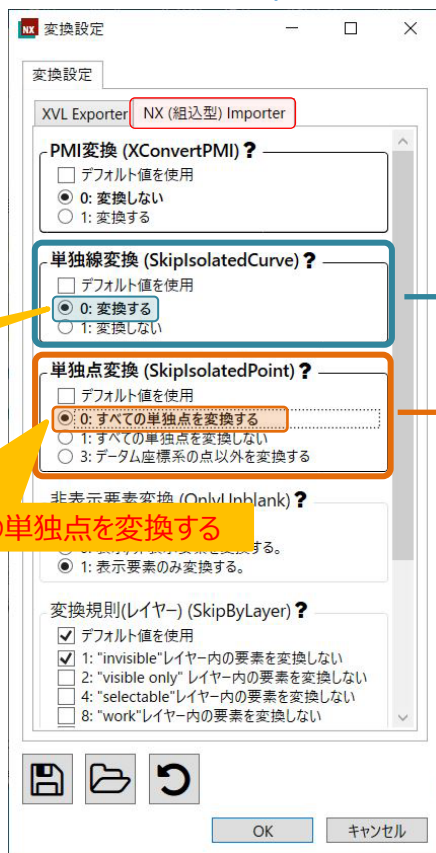
NX

各種變換設定方法

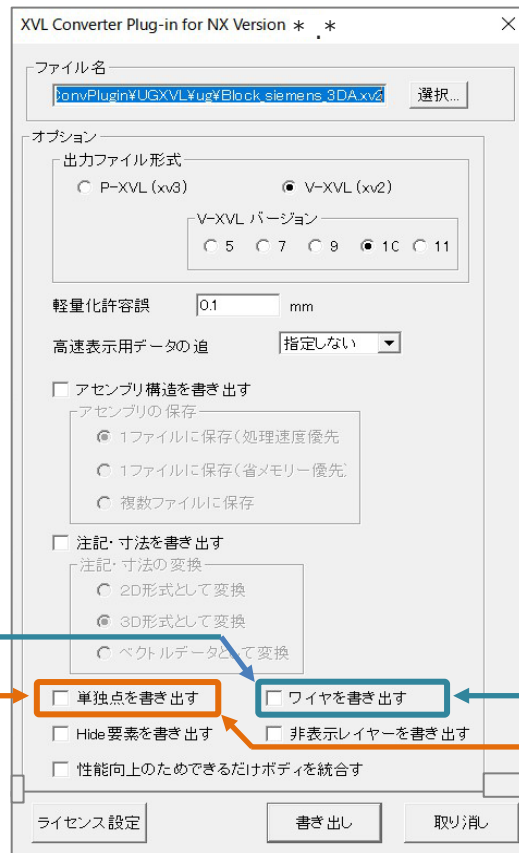
NX 単独線と単独点の設定方法

単独線と単独点を変換する場合の設定方法

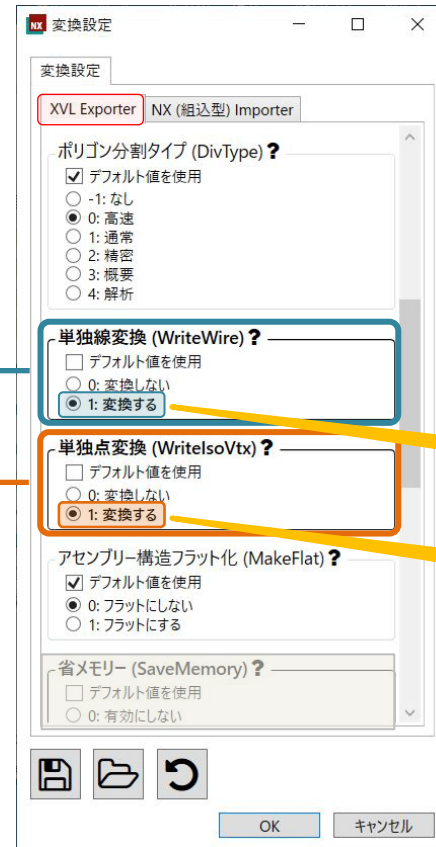
新バージョン：[変換設定]ダイアログ
NX（組込型）Importer タブ



旧バージョン：[変換]ダイアログ



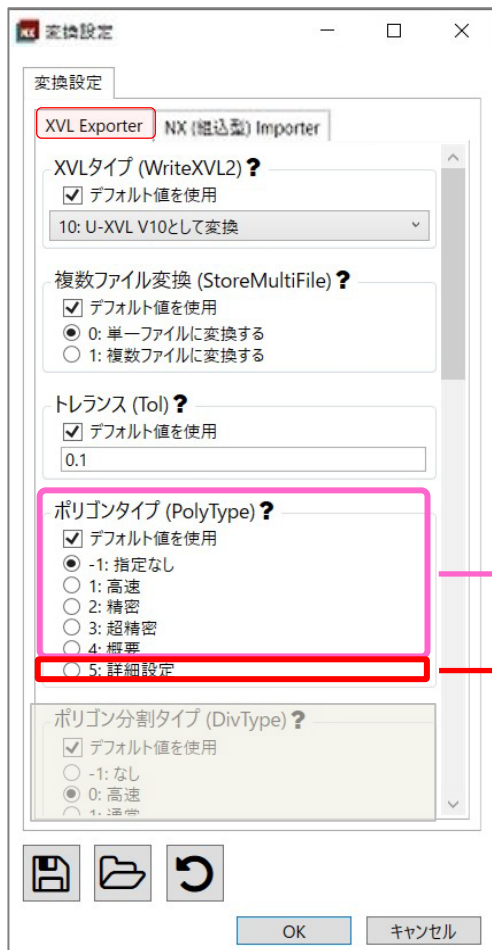
新バージョン：[変換設定]ダイアログ
XVL Exporter タブ



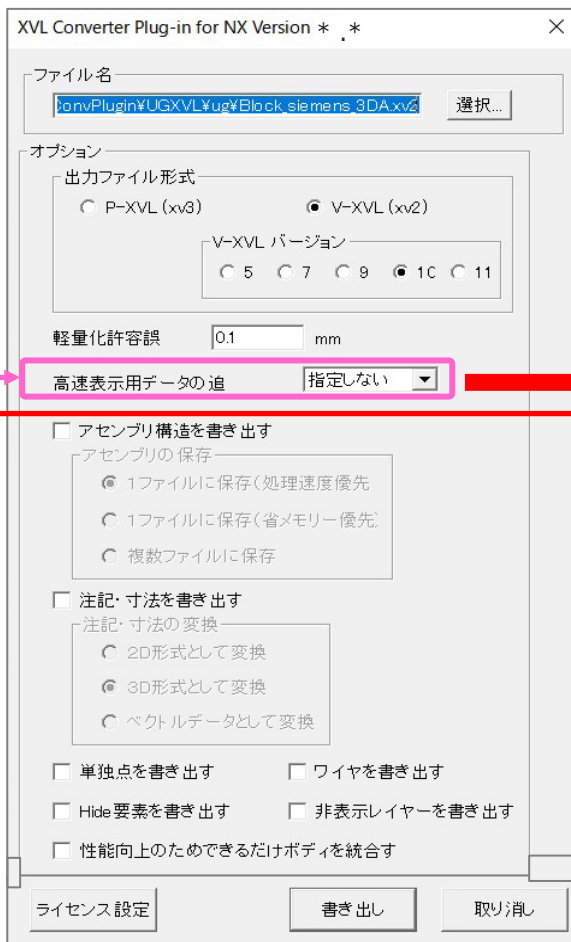
NX ポリゴンタイプの設定

ポリゴンタイプを変換する場合の設定方法

新バージョン : [変換設定]ダイアログ
XVL Exporter タブ



旧バージョン : [変換]ダイアログ



新バージョン : [変換設定]ダイアログ
XVL Exporter タブ



「高速表示用データの追加」の各設定に対して
ポリゴンタイプの設定を以下のように設定

- 指定しない } ⇒ 1:高速
- 高速表示 } ⇒ 2:精密
- 精密表示 } ⇒ 3:超精密
- 超精密表示 } ⇒ 4:概要
- 概要表示 } ⇒ 4:概要

ポリゴンタイプを 5:詳細設定 に設定した場合
ポリゴン分割タイプを設定

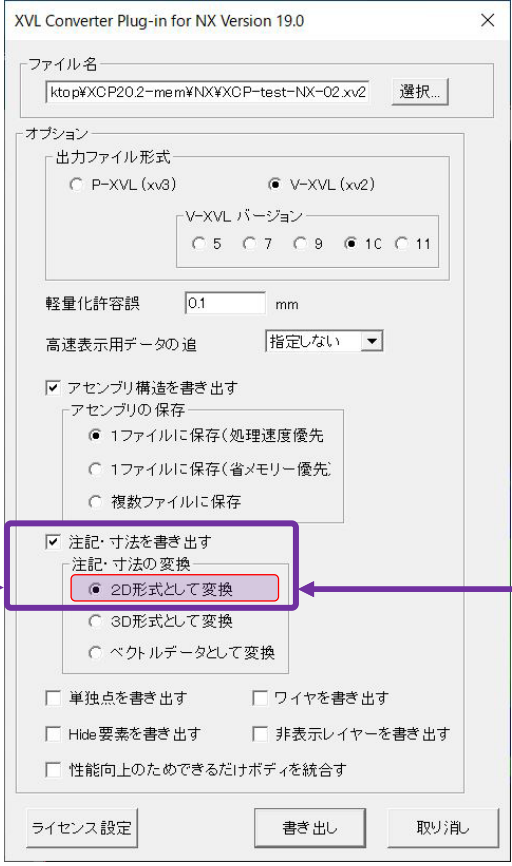
NX 注記・寸法の設定

注記変換・寸法変換をする場合の設定方法

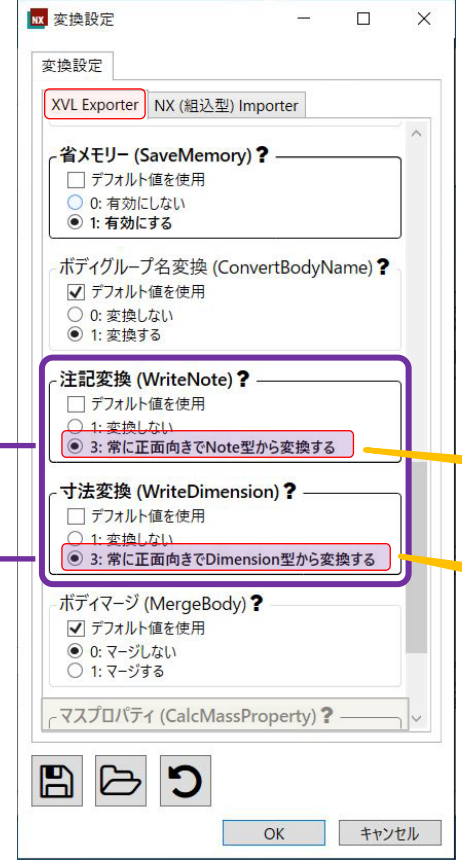
新バージョン：[変換設定]ダイアログ
NX（組込型）Importer タブ



旧バージョン：[変換]ダイアログ



新バージョン：[変換設定]ダイアログ
XVL Exporter タブ



旧バージョンの「2D形式として変換」は、
新バージョンの注記変換、寸法変換では、
「常に正面向きで Note/Dimension型から変換する」
にメニュー名を変更しました

3.常に正面向きで Note型から変換する

3.常に正面向きで Dimension型から変換する

注記と寸法を別々に変換できるようになりました



ラティス・テクノロジー株式会社

www.lattice.co.jp/

東京本社 〒112-0004 東京都文京区後楽2-3-21 住友不動産飯田橋ビル10階 Tel 03-3830-0333 Fax 03-5805-5253

2023/06/26 初版リリース